

## 査読論文

# 耐震補強のための新たな耐力壁による建築計画の空間の再構築

君 興 治

## 要約

木造在来工法住宅の耐震補強と建築計画を合わせた改修による耐震化工事の普及耐力壁の効果的な設置により、施工する範囲を抑えることで、昭和56年(1981)5月31日前(旧耐震基準)の多くの木造在来工法住宅に対し耐震化を行い、地震による倒壊・崩壊などを軽減させ、札幌市全体の防災の促進を行う。

耐震化の工事を希望するも予算の問題で解体、もしくは外壁の張替だけの改修工事のみを行うなど、耐震工事そのものを行わない市民が多い中、少ない範囲や必要箇所のみでも効果のある補強と部屋の用途を変更する改修の両方を踏まえた工事方法を考え提案した。ことで、予算内で耐震効果の高い補強工事を行う件数が増え、札幌市の防災力の向上につながったと思われる。

キーワード：木造住宅耐震補強 耐力壁配置 コスト削減 防災力向上

## 1. はじめに

研究の背景としては札幌市における木造住宅耐震診断員を12年行い、札幌市内の木造在来工法住宅の耐震診断の結果から、工事資金の予算の不足という理由で、耐震化工事をあきらめざるを得ないケースが多いことを知り、工事費用を縮小しながらも耐震強度が上がるような工事方法の模索を行った。

結果、住宅の建物内部からの工事ならば、足場設置を必要とせずに工事ができること、また診断方法の中の一般診断法を用い、さらに表3.1ルートと精算法ルートという診断方法の検討をするなど、一般的に普及しやすい構法の木造住宅を、適した耐震の計画や耐震構造、耐震設計によった工事で手を加えることで、長く利用できる安全性の

高い建築として改修する方法を考えた。

## 2. 研究の目的

耐力壁をバランスよく配置することと、その見極めをすることにより古い木造の建物の安全性を高め、長期間に渡って住宅として利用できる木造軸組みの建築物の耐震補強の普及を目指す。

必要性としては木造建築物が構造的に安定するための「耐力壁」を適切な箇所に配置をすることで、昭和56年(1981年)5月31日以前(旧耐震基準)の古い木造建築物であっても、上部構造評点を1.0以上に保つことで震度6~7程度の大地震に対して建物が一応倒壊しないところまで補強することができる<sup>注1)</sup>。上部構造評点とは、木造住宅の耐震性を数値で表したものであり、震度

<sup>注1)</sup> 上部構造評点判定1.0以上~1.5未満一応倒壊しない1.5以上倒壊しない 札幌市木造住宅耐震診断マニュアルより

6～7程度の大地震に対し、建物が倒壊する可能性を判定しているもので、評点が1.0未満の場合は倒壊の可能性があると考えられる。

問題提起としては木造耐震設計の補助基準となっている、一般社団法人日本建築防災協会ソフトWee2012を使用した耐震の設計と計画を行うことで、国土交通省から耐震工事の費用の一部の補助を受けることができる。その耐震改修工事の費用の補助に対応している北海道の市区町村は、179市区町村のなかで、76市区町村のみであり、北海道全体の42%であるとされている。青森県も33%となっており、全国平均の85%と比較しても北海道は低い数値になっているといえる（令和6年度の国土交通省耐震補助状況 表1）。

北海道や青森県などの積雪の多い地域は、積雪荷重を加味した計画が必要となるために、積雪のない地域のような簡単な耐震補強では上部構造評点1.0を超えることができない。よって、積雪の無い地域よりも工事金額が高額となってしまうこと、また耐震補強工事に加えて、積雪地域特有の工事として断熱材の追加などが発生することが多い。また、耐力壁についてはどの壁を補強しても効果があるのではなく、その下の階に壁があるか（壁の直下率の検討）、耐力壁の上下に横架材が存在しているか（非破壊調査なので検討が難しい）など、木造建築設計の経験を問われる判断が多くあり、木造住宅耐震診断員の登録が必要とされている。

例えば、直下率を無視した計画をしてしまうことで、計算書上では上部構造評点の上昇はみとめられるも、施工上では工事そのものが不可能な場合もあり、実際には上部構造評点の数値ほどの効

果が現れにくいという可能性がある。

それを回避するために、新たな耐力壁を設けることによって計算上の上部構造評点の数値を上げるだけでなく、実際に効果的な施工方法を導く。

事例紹介としては2016年度以降、札幌市では木造住宅耐震診断を無料化し、耐震化工事に対しても補助制度を設けるなどして、木造住宅の耐震化に対する取り組みを支援した。また、市全体の防災力を向上する動きがあり、それに伴い、耐震診断から耐震設計を行った札幌市内の昭和55年に確認申請許可を得た木造軸組在来工法の住宅における耐力壁を補強したい部分の1階と2階に壁の重なりが少ないことから、新たな壁を設けることで既存の壁のみの補強工事よりも高い耐震性能を引き出す試みを行った。

達成目標、本研究の目的は図3、図4、に示す建物の2階Y方向の耐力壁AグループとBグループの設置の位置によって建物の上部構造評点が1.0に達するまでの耐力壁の幅（長さ）を比較するものである。幅（長さ）についての検討は、補強箇所が短ければ工事面積も少なくなるもので、言い換えると工事金額に比例することとなる。ここでは壁単体の基準耐力に着目するのではなく、幅（長さ）を基準として建物全体の指標である上部構造評点1.0以上を目標とする。

また、適切に耐力壁を設置することで、工事箇所数を減らすことが可能となり、ひいては予算上でも工事が可能となった。さらには、本研究によってどの箇所に新たな壁を設けることが効果的なのかの見極めをしやすくなり、今後、耐震補強工事を行う際に多くある予算的な問題を軽減させる方法の一つとして挙げるものとする。

耐震改修に対する補助制度の整備状況（都道府県別総括表）

（令和6年4月1日現在）

都道府県名	耐震改修に係る補助制度の整備状況（補助が受けられる市区町村数及び割合）												
				住宅						非住宅建築物			
	市区町村数	市区町村数	割合	市区町村数	割合	戸建住宅		共同住宅		市区町村数	割合		
						市区町村数	割合	市区町村数	割合	市区町村数	割合		
北海道	179	80	45%	76	42%	76	42%	1	1%	18	10%	23	13%
青森県	40	13	33%	13	33%	13	33%	1	3%	0	0%	2	5%

国土交通省

表 1

### 3. 研究の方法

#### 解析方法

- 使用するソフト一般社団法人日本建築防災協会ソフト Wee2012 による一般診断法, 表 3.1 ルート<sup>注2)</sup> により耐震計算を行い, 2 階 Y 方向の耐力壁の長さの検討を行う。
- 検討方法 検討を行う壁は 2 階の Y 方向を A グループと B グループの 2 か所とし, どちらかの上部構造評点が 1.0 に達するまで行い, その耐力壁の長さで比較する。
- 検討の位置 A グループは 2 階既存の壁に限定して補強を行う。(一般的に使用されている壁の補強方法) B グループは既存に無い新たな壁の補強を行う。
- 検討の条件 耐力壁の設置位置は 1 階と 2 階の壁の直下率を検討に入れ, 下階に壁が存在していること, または横架材が施工可能な位置にのみ耐力壁の計画を行う。
- 使用する材料と施工
  - ・筋違 (既存の壁に使用する場合は既存壁内部 105 mm 以内に納めるために 30 mm×90 mm 以上の筋違を使用し新設の壁は 45 mm×90 mm 以上の筋違を使用する。) 筋違の端部は壁倍率指定の金物で固定する。
  - ・使用する面材は MDF 9 mm (昭和 55 年以前の建物は気密が取れていないため室内の湿気を外部の放出するために通気性の高い MDF を使用する。)
    - 建物内部, 入隅に使用する場合は高倍率真壁仕様 告示第 1100 号 (図 1)
    - 建物外部に使用する場合は高倍率大壁仕様 告示第 1100 号 (図 2)
- 壁基準耐力 壁基準耐力は (表 2) の合計耐力を使用する。
- 窓開口 0.6 KN
- はき出し開口 0.3 KN

○既存の石膏ボードの壁 1.1 KN

○検討を行う建物条件

所在地：札幌市手稲区新発寒 4 条 3 丁目

竣工年：昭和 55 年

建物仕様：木造 2 階建 軽い建物

屋根仕様：鉄板葺き

壁仕様：木ずり下地モルタル塗り

地域係数：0.9

地盤による割り増し：1.0

形状割増係数：1 階 = 1.0

積雪深：140 cm (多雪区域)

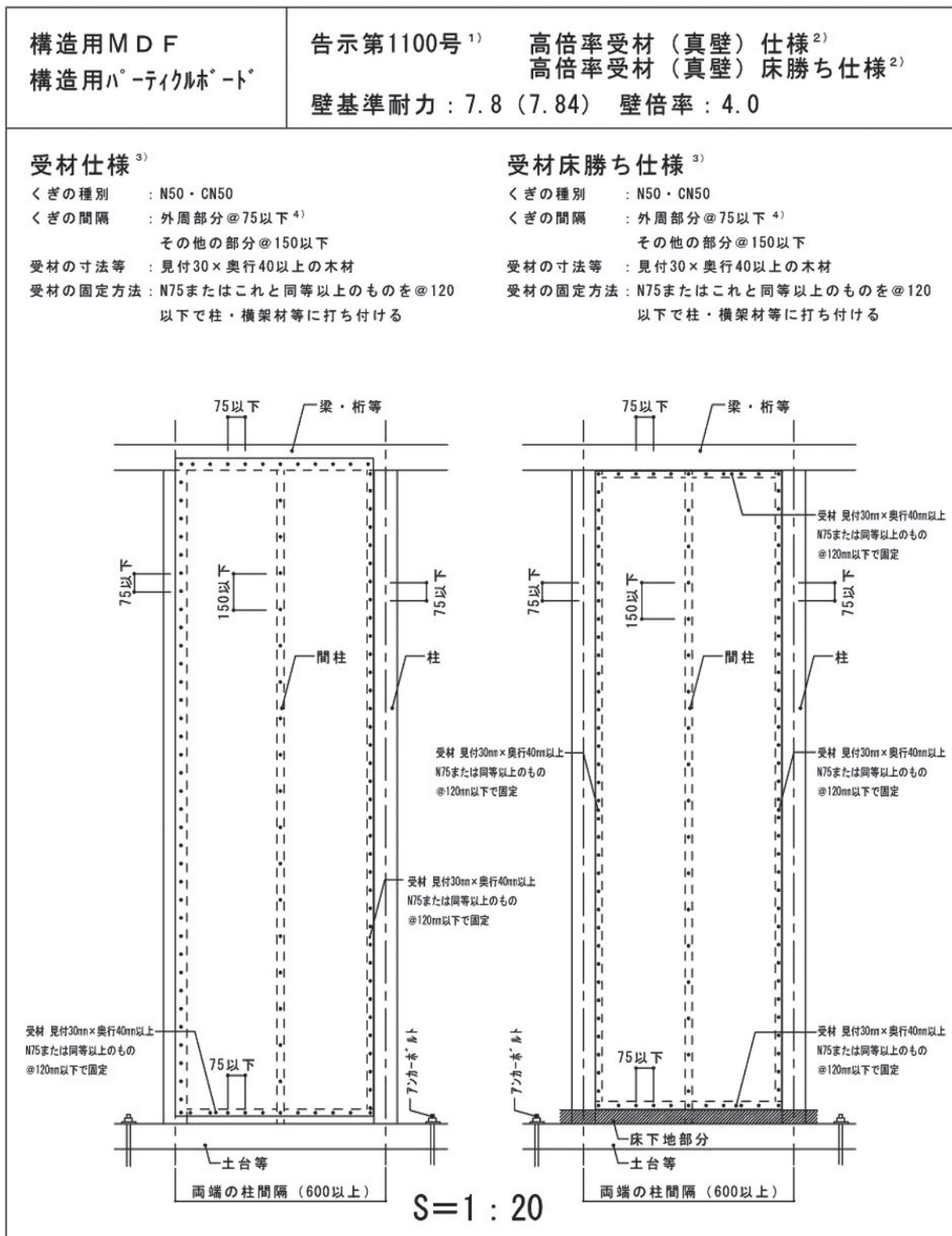
基礎仕様：Ⅱ ひび割れのある鉄筋コンクリート

床仕様：Ⅲ 火打ち無し

主要な柱の径：120 mm 未満

接合部仕様：Ⅳ ほぞ差し, 釘打ち, かすがい等

<sup>注2)</sup> 表 3.1 ルートは床面積あたりを必要耐力係数で算定し, 壁配置バランスを四分割法で確認する方法



1) 昭和56年6月1日建設省告示第1100号(最終改正 平成30年3月26日国土交通省告示第490号)  
 2) 告示第1100号第1の第3号・別表第2の(1)  
 3) 大壁・真壁、下部を土台・横架材等に直接くぎ打ち、受材仕様、床勝ち仕様(床下地材の上から受材を打ち付けたもの)の区別なく、4周の1ヶ所以上に受材を使用する仕様「受材仕様」は右側が入隅、床は解体しない想定で受材仕様で記載している。  
 「受材床勝ち仕様」は真壁の床勝ち仕様で記載している。  
 4) やむをえず、胴つなぎ受材を設置して構造用面材を継ぎ合わせて打ち付ける場合、胴つなぎ部は「外周部分」とする。

図1



壁の合計耐力①	壁の合計耐力②	壁の合計耐力④	壁の合計耐力⑤
建設省告示第1100号 受材真壁仕様 (MDF パーティクルボード) 壁倍率4.0倍×1.96=7.84 ≒7.8KN  筋かい BP金物または同等品 30×90 片筋かい 2.4KN	建設省告示第1100号 大壁仕様 (MDF パーティクルボード) 壁倍率4.3倍×1.96=8.428 ≒8.4KN  筋かい BP金物または同等品 30×90 片筋かい 2.4KN	建設省告示第1100号 大壁仕様 (MDF パーティクルボード) 壁倍率4.3倍×1.96=8.428 ≒8.4KN	筋かい BP金物または同等品 45×90 両筋かい 6.4KN
合計 10KN	合計 10KN	合計 8.4KN	合計 6.4KN

表 2

#### 4. 結果および考察

●A グループの補強（配置等による低減 イ ロ 対する補強 Y 方向 図 3）。

2 階, X3 通り, X7 通り, の下階（1 階）に横架材, 壁が無い場合① X9 通り Y3~Y7 ② X10 通り Y7~Y8 ③ X12 通り Y3~Y4 ④ X12 通り Y6~Y8 を補強, 2 階 Y 方向イとロのバランスが悪いため既存の壁のみの補強を行っても配置等による低減係数が 0.48 となる（表 3）。

よって, 2 階 Y 方向の配置による低減係数の改善ができないため上部構造評点は 0.8 となり 1.0 には届かない結果となる（表 4）。

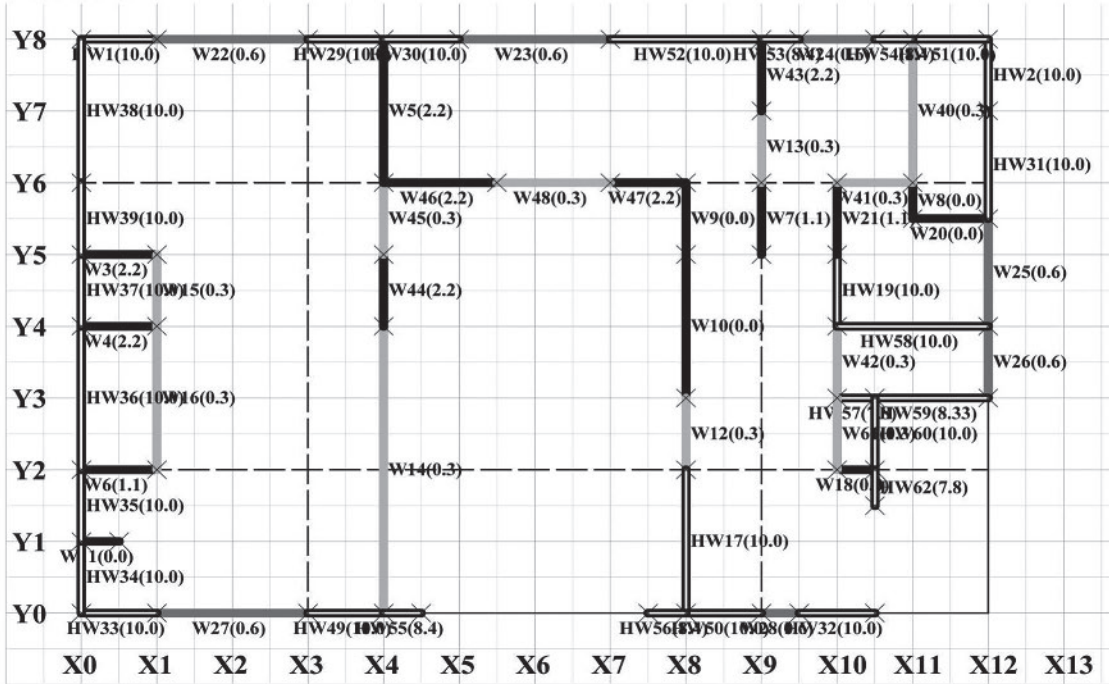
壁の長さ 0.91 m × 8 カ所 = 7.28 m

耐力壁のバランスを考慮することが建築基準法<sup>1)</sup>で定められていない時期の建物は, クライアントの要望で日当たりのために南側に窓を多く取り, 北側は壁を設ける設計が多く, 今回の建物もそれに該当する。

南と北, 東と西の耐力壁のバランスを考えず, 1 階の壁と 2 階の壁の上下の関係性も考えずに設計すると, 既存の壁のみに補強するだけでは, 耐震上で安全にすることは困難であると考え。

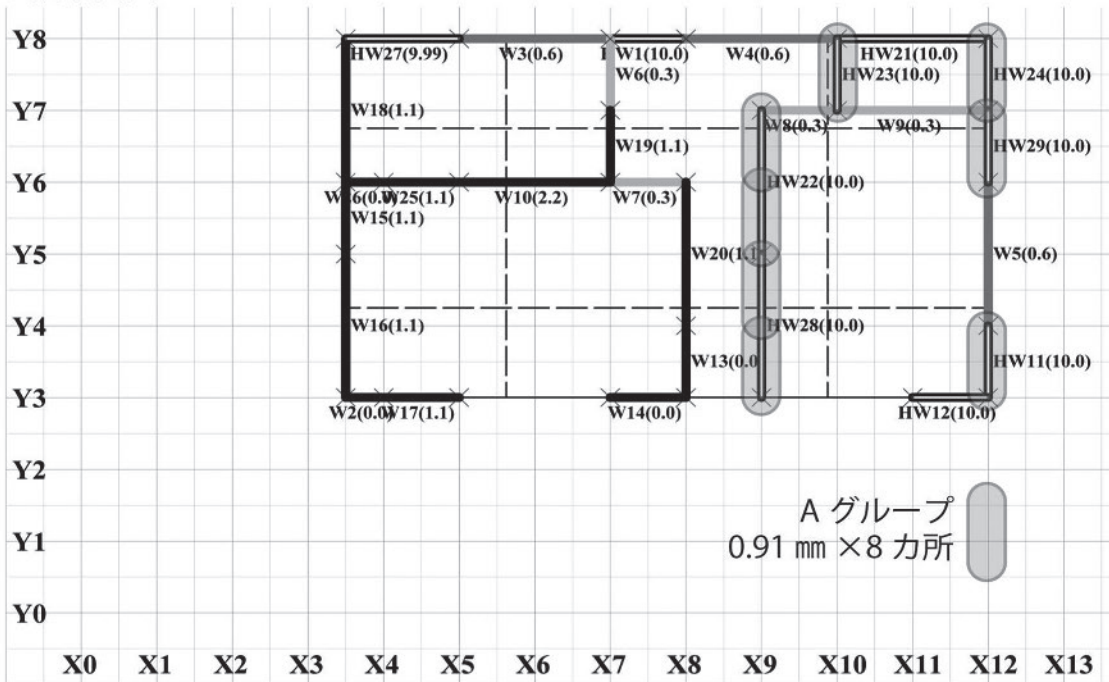
<sup>1)</sup> 平成 12 年に施行された建築基準法施工 46 条, 耐力壁のバランスにおける四分割法

1 階平面図



注)  $W_i$  : 壁番号、( )内は壁の耐力  
 HW $i$  : 補強した壁又は補強のために設けた壁  
 — 無開口壁 — 窓型開口壁 — 掃出し型開口壁

2 階平面図



注)  $W_i$  : 壁番号、( )内は壁の耐力  
 HW $i$  : 補強した壁又は補強のために設けた壁  
 — 無開口壁 — 窓型開口壁 — 掃出し型開口壁

A グループ補強計算書 P2 P3

図 3

6. 耐力要素の配置等による低減係数

【床の仕様】Ⅲ 火打ちなし (4m以上の吹き抜けなし)

階	方向	領域	領域の必要耐力 Q <sub>r</sub>	領域の無開口壁の耐力 Q <sub>w</sub>	充足率 Q <sub>w</sub> /Q <sub>r</sub>	耐力要素の配置等による 低減係数 eK <sub>fl</sub>
2	X	a	5.81	35.21	6.06	1.00
		b	5.81	10.10	1.74	
	Y	イ	5.81	5.01	0.86	0.48
		ロ	5.81	24.93	4.29	
1	X	a	21.36	52.33	2.45	1.00
		b	11.52	30.85	2.68	
	Y	イ	11.52	59.70	5.18	1.00
		ロ	21.36	39.81	1.86	

A グループ補強計算書 P18

表 3<sup>2)</sup>

8. 上部構造評点

階	方向	壁・柱の耐力 Q <sub>u</sub> (kN)	配置等による 低減係数 eK <sub>fl</sub>	劣化度 dK	保有する耐力 e <sub>d</sub> Q <sub>u</sub> =Q <sub>u</sub> *eK <sub>fl</sub> *dK	必要耐力 Q <sub>r</sub> (kN)	上部構造評点 e <sub>d</sub> Q <sub>u</sub> /Q <sub>r</sub>
2	X	52.60	1.00	0.70	36.82	23.25	1.58
	Y	55.42	0.48	0.70	18.63	23.25	0.80
1	X	129.57	1.00	0.70	90.70	85.43	1.06
	Y	128.24	1.00	0.70	89.77	85.43	1.05

A グループ補強計算書 P18

表 4<sup>2)</sup>

●B グループの補強（配置等による低減 イ 口 対する補強 Y方向 図4）。

2階, X4 通り, X12 通り, ⑤ X4 通り Y6~Y8 ⑥ X12 通り Y3~Y4 を補強, 2階 Y 方向イとロのバランスが改善され, 配置等による低減係数が 1.0 となった (表5)。

配置等による低減係数の改善がされたため上部構造評点は 1.11 となった (表6)。

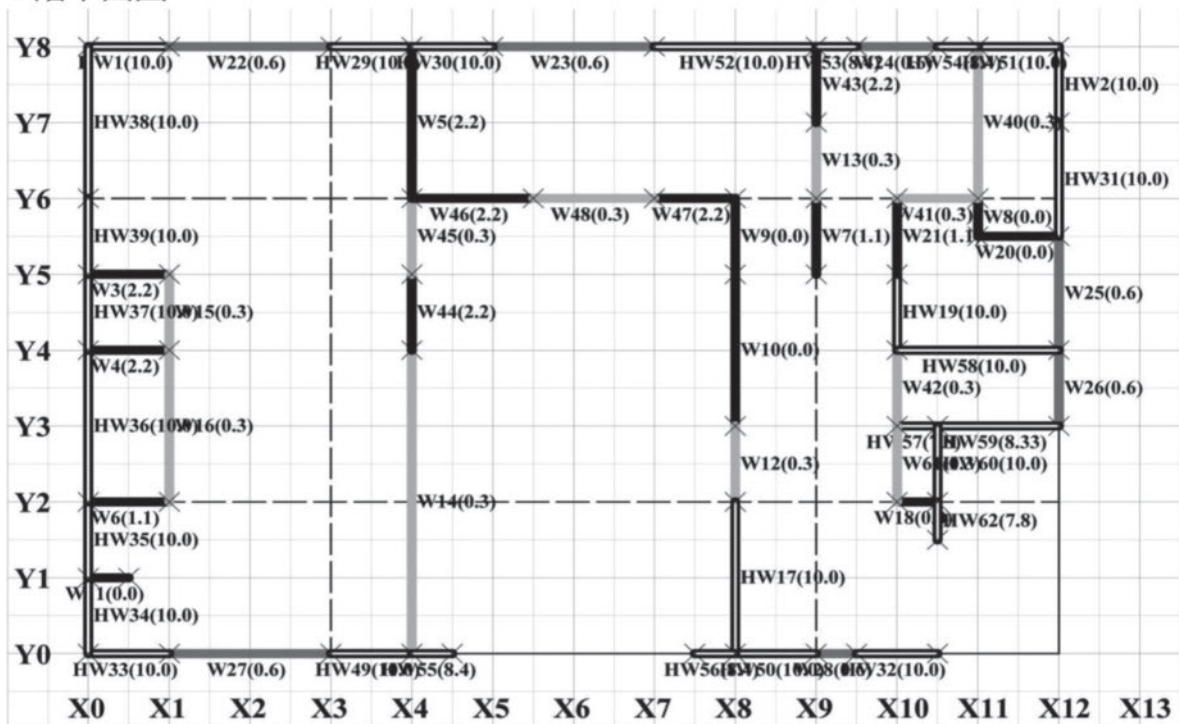
壁の長さ 0.91 mm × 3カ所 = 2.73 m

2階に新設する壁を, 1階壁 X4 通り上に設けることで, 重なりがなかった2階が1階とつながる形となる。もともと上下の直下率やバランスを考えずに設計されている建物は, 建物を支える壁の見極めを行うことで 0.91 mm × 3カ所と少ない壁の長さで A グループの上部構造評点を超え

る数値となり, 建物の見極めが非常に重要だといえる。

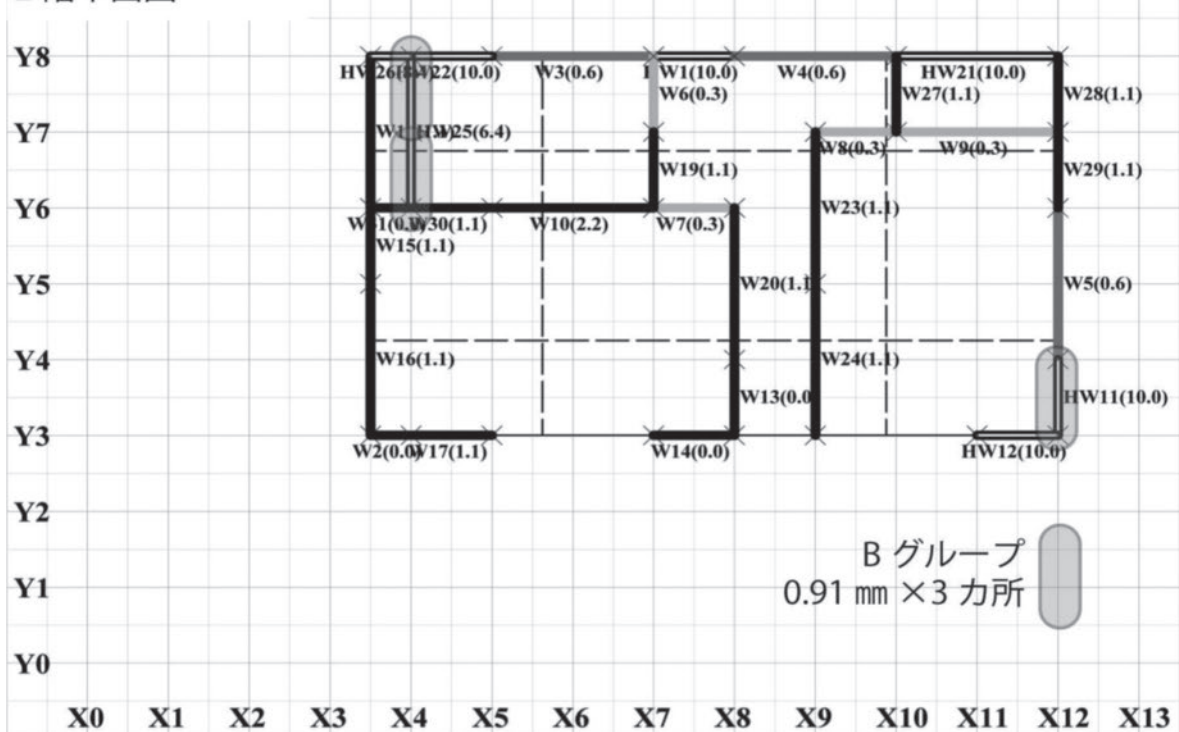
<sup>2)</sup> 表3, 表4はAグループ積雪荷重140cmの補強計算書を使用。

1 階平面図



注) Wi : 壁番号、( )内は壁の耐力  
 HWi : 補強した壁又は補強のために設けた壁  
 ■ 無開口壁 ■ 窓型開口壁 ■ 掃出し型開口壁

2 階平面図



注) Wi : 壁番号、( )内は壁の耐力  
 HWi : 補強した壁又は補強のために設けた壁  
 ■ 無開口壁 ■ 窓型開口壁 ■ 掃出し型開口壁

B グループ補強計算書 P2 P3

図 4

6. 耐力要素の配置等による低減係数

【床の仕様】Ⅲ 火打ちなし (4m以上の吹き抜けなし)

階	方向	領域	領域の必要耐力 Q <sub>r</sub>	領域の無開口壁の耐力 Q <sub>w</sub>	充足率 Q <sub>w</sub> /Q <sub>r</sub>	耐力要素の配置等による 低減係数 eKfl
2	X	a	5.81	36.40	6.26	1.00
		b	5.81	10.10	1.74	
	Y	イ	5.81	16.65	2.87	
		ロ	5.81	12.10	2.08	
1	X	a	21.36	52.33	2.45	1.00
		b	11.52	30.85	2.68	
	Y	イ	11.52	59.70	5.18	
		ロ	21.36	39.81	1.86	

B グループ補強計算書 P18

表 5<sup>3)</sup>

8. 上部構造評点

階	方向	壁・柱の耐力 Q <sub>u</sub> (kN)	配置等による 低減係数 eKfl	劣化度 dK	保有する耐力 edQu=Qu*eKfl*dK	必要耐力 Q <sub>r</sub> (kN)	上部構造評点 edQu/Q <sub>r</sub>
2	X	57.62	1.00	0.70	40.33	23.25	1.73
	Y	37.13	1.00	0.70	25.99	23.25	1.11
1	X	129.57	1.00	0.70	90.70	85.43	1.06
	Y	128.24	1.00	0.70	89.77	85.43	1.05

B グループ補強計算書 P18

表 6<sup>3)</sup>

5. 結論

木造軸組構造の耐震補強における2階の耐力壁の配置検討において、Aグループ（既存の壁のみの補強）は耐力壁を設置できる壁が少ないため上部構造評点が0.8までしか上がらず、1.0には届かない結果となった。壁の長さもBグループ（新設の壁を含む補強）2.73 mに対してAグループは7.28 mと2.6倍の差となった。

耐力壁の設置計画について表3.1 ルート（四分割法）を理解し、耐力壁の設置位置のバランスを取るために、既存の壁の補強だけではなく、新設の壁BグループX4通りY6~Y8、を設けることで大幅に工事面積を小さくすることができる（図5）。これについては設計者の耐震に対する知識

や耐震ソフトの普及が必要となり、クライアントの理解や許可、計画前の事前説明が不可欠な上、診断の段階で予測し、耐震計算をしておく必要がある。やみくもに既存の壁を何箇所も補強して、建物の耐震強度を上げ、工事金額も高額にするのではなく、設計者が居住空間への影響を抑える位置や利用頻度の低い部屋に新たな壁を設けることで、工事箇所を減らし、ひいては建築計画を含む設計を視野に入れた「耐震補強設計と建築計画」の両方を踏まえた、新たな提案・試みをすることで、予算的な問題を軽減することができ、耐震化工事件数を上げることにつながり、札幌市の防災にもつながったと思われる。

<sup>3)</sup> 表5、表6はBグループ積雪荷重140 cmの補強計算を使用。

新設壁 X4 通り Y6 ~ Y8



図 5

## 6. 参考文献

- ・札幌市木造住宅耐震診断マニュアル，発行札幌市，監修，（一社）北海道建築士事務所協会札幌支部住宅設計委員会 2025年7月9日発行（改訂版）
- ・札幌市木造住宅耐震設計と耐震改修工事のポイント，発行札幌市，監修（一社）北海道建築士事務所協会札幌支部住宅設計委員会 2025年7月9日発行（改訂版）
- ・2012年改訂版木造住宅の耐震診断と補強方法指針と解説編，発行一般社団法人日本建築防災協会国土交通大臣指定耐震改修支援センター 2013年5月24日発行
- ・2012年改訂版木造住宅の耐震診断と補強方法例題編・資料編，発行一般社団法人日本建築防災協会国土交通大臣指定耐震改修支援センター 2013年5月24日発行

- ・2012年改訂版木造住宅の耐震診断と補強方法一般診断法による診断プログラム 一般社団法人日本建築防災協会国土交通大臣指定耐震改修支援センター 2021年5月17日発行

## 7. 付録

### A グループ

耐震改修図面・耐震改修後平面図1，2階・補強計算書積雪あり・補強計算書積雪無し

### B グループ

耐震改修図面・配置図・既存平面図・解体図平面図・耐震改修後平面図1，2階・解体図立面図・耐震改修後立面図・基礎伏図・金物図1，2階・軸組み図XY通り・N値計算書X，Y通り・補強計算書積雪あり・補強計算書積雪無し

# Reconstruction of space in architectural planning using new shear walls for seismic reinforcement.

KIMI Koji

## Abstract

Promotion of Seismic Retrofitting for Wooden Post-and-Beam Construction Homes through Combined Structural Reinforcement and Renovation Planning

By effectively installing high-performance shear walls, the scope of construction can be minimized, enabling seismic retrofitting for many wooden post-and-beam homes built before May 31, 1981 (under the old seismic standards). This approach helps reduce the risk of collapse or destruction during earthquakes and contributes to enhancing disaster resilience across Sapporo City.

Although many citizens wish to carry out seismic retrofitting, budget constraints often lead them to opt only for partial renovations such as demolition or exterior wall replacement, without addressing seismic reinforcement itself. By proposing a construction method that combines targeted reinforcement in essential areas with renovations that repurpose room functions, we have increased the number of projects that achieve high seismic performance within budget. This has led to a significant improvement in Sapporo City's overall disaster preparedness.

Keywords: Seismic retrofitting Shear wall placement Wooden post-and-beam houses Disaster resilience



2012年改訂版 木造住宅の耐震診断と補強方法  
一般診断法による診断プログラム Wee2012(Win10)

## 「一般診断法」による補強計算

方法 1、表3.1ルート

一般財団法人 日本建築防災協会

\* 方法 1 は、在来軸組構法や枠組壁工法など、壁を主な耐震要素とした住宅を主な対象とする。

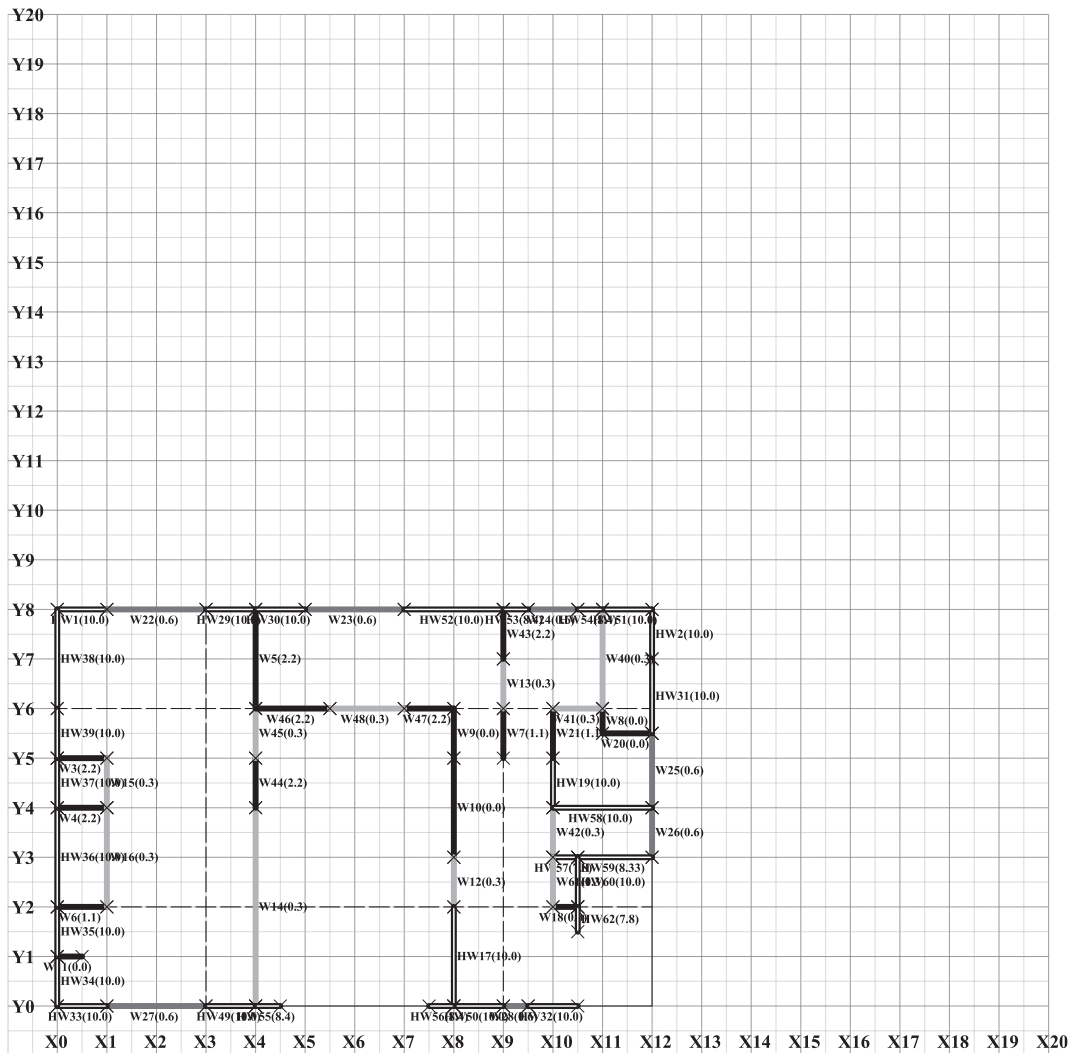
\* 表3.1ルートは、「必要耐力」に表3.1を、「耐力要素の配置等による低減係数 $e_{kf}$ 」に四分割法を用いた計算方法です。

### 1. 建物概要

① 建物名称	: M様邸
② 所在地	: 札幌市手稲区
③ 竣工年	: 昭和 55年 築10年以上 ※調査日: 2022年 3月 20日
④ 建物仕様	: 木造2階建 軽い建物 (屋根仕様:鉄板葺等 壁仕様:木ずり下地モルタル塗り)
⑤ 地域係数 Z	: 0.9
⑥ 地盤による割増	: 1.0
⑦ 形状割増係数	: 1階=1.00
⑧ 積雪深	: 140cm (多雪区域)
⑨ 基礎仕様	: II <small>ひび割れのある鉄筋コンクリートの布基礎又はべた基礎、無筋コンクリートの布基礎、柱脚に足固めを設け鉄筋コンクリート底盤に柱脚または足固め緊結した玉石基礎、軽微なひび割れのある無筋コンクリート造の基礎</small>
⑩ 床仕様	: III 火打ちなし (4m以上の吹き抜けなし)
⑪ 主要な柱の径	: 120mm未満
⑫ 接合部仕様	: IV ほぞ差し、釘打ち、かすがい等
* パスとファイル	: C:\Users\Atelierkimi\Desktop\雪なし 9.19-2.w20

2. 壁配置図

1階 (1モジュール=910mm)

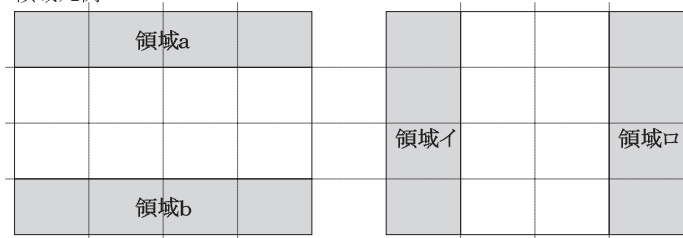


注) Wi : 壁番号、( )内は壁の耐力  
 HWi : 補強した壁又は補強のために設けた壁  
 ■ 無開口壁 ■ 窓型開口壁 ■ 掃出し型開口壁

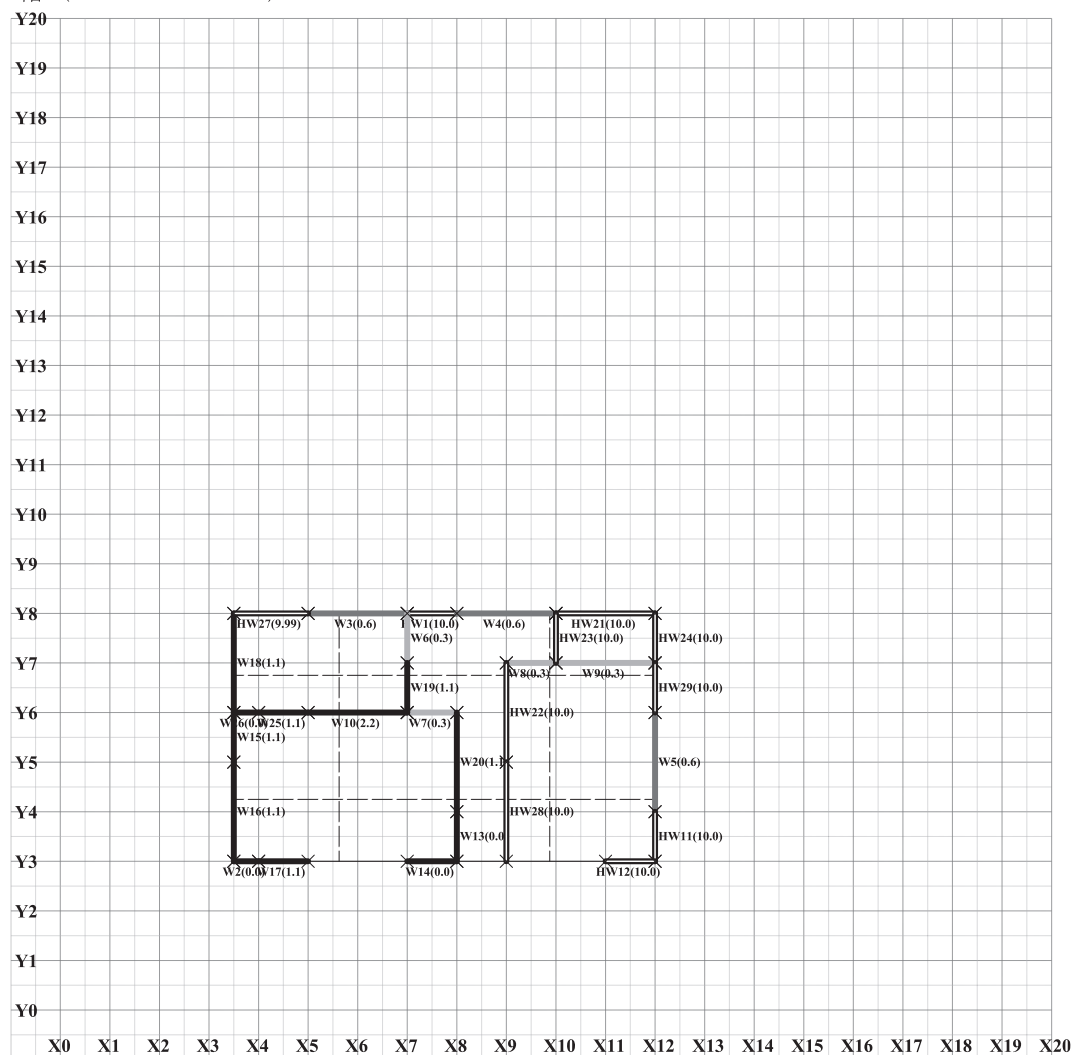
1階各領域の面積

領域	面積 (㎡)
a	19.87
b	19.87
イ	19.87
ロ	19.87
全体	79.50

領域凡例



2階 (1モジュール=910mm)



注) Wi : 壁番号、( )内は壁の耐力  
 HWi : 補強した壁又は補強のために設けた壁  
 ■ 無開口壁 ■ 窓型開口壁 ■ 掃出し型開口壁

2階各領域の面積

領域	面積 (㎡)
a	8.80
b	8.80
イ	8.80
ロ	8.80
全体	35.19

■部材リスト [その他(別添仕様)がある場合は、具体的仕様がわかる資料を添付]  
 [HWi, HCi, HTi, HTKiは補強した部材又は補強のために設ける部材を示す。]

<1階> 壁

HW1	(X0,Y8)-(X1,Y8)	壁基準耐力=10.0 外面: 8.4 (kN/m) 芯 : 2.4 筋かい木材30x90以上, BPまたは同等品(片筋) 外面: 0 ー
		接合部仕様: I 平成12年建設省告示第1460号に適合する仕様 基礎仕様: 同建物概要の基礎仕様
HW2	(X12,Y8)-(X12,Y7)	壁基準耐力=10.0 外面: 8.4 その他(別添仕様) (kN/m) 芯 : 2.4 筋かい木材30x90以上, BPまたは同等品(片筋) 外面: 0 無し
		接合部仕様: II 羽子板ボルト、山形プレートVP、かど金物CP-L、込み栓 基礎仕様: 同建物概要の基礎仕様
W3	(X0,Y5)-(X1,Y5)	壁基準耐力=2.2 外面: 1.1 石膏ボード張り(厚9以上) (kN/m) 芯 : 0 無し 外面: 1.1 石膏ボード張り(厚9以上)
		接合部仕様: IV ほぞ差し、釘打ち、かすがい等 基礎仕様: III その他の基礎
W4	(X0,Y4)-(X1,Y4)	壁基準耐力=2.2 外面: 1.1 石膏ボード張り(厚9以上) (kN/m) 芯 : 0 無し 外面: 1.1 石膏ボード張り(厚9以上)
		接合部仕様: IV ほぞ差し、釘打ち、かすがい等 基礎仕様: III その他の基礎
W5	(X4,Y8)-(X4,Y6)	壁基準耐力=2.2 外面: 1.1 石膏ボード張り(厚9以上) (kN/m) 芯 : 0 無し 外面: 1.1 石膏ボード張り(厚9以上)
		接合部仕様: IV ほぞ差し、釘打ち、かすがい等 基礎仕様: III その他の基礎
W6	(X0,Y2)-(X1,Y2)	壁基準耐力=1.1 外面: 1.1 石膏ボード張り(厚9以上) (kN/m) 芯 : 0 無し 外面: 0 無し
		接合部仕様: IV ほぞ差し、釘打ち、かすがい等 基礎仕様: III その他の基礎
W7	(X9,Y6)-(X9,Y5)	壁基準耐力=1.1 外面: 1.1 石膏ボード張り(厚9以上) (kN/m) 芯 : 0 無し 外面: 0 無し
		接合部仕様: IV ほぞ差し、釘打ち、かすがい等 基礎仕様: III その他の基礎
W8	(X11,Y6)-(X11,Y5.5)	壁基準耐力=0.0 外面: 0 無し (kN/m) 芯 : 0 無し 外面: 0 無し
		接合部仕様: IV ほぞ差し、釘打ち、かすがい等 基礎仕様: III その他の基礎
W9	(X8,Y6)-(X8,Y5)	壁基準耐力=0.0 外面: 0 無し (kN/m) 芯 : 0 無し

		外面: 0	無し
		接合部仕様: IV	ほぞ差し、釘打ち、かすがい等
		基礎仕様: III	その他の基礎
W10	(X8,Y5)-(X8,Y3)	壁基準耐力=0.0	外面: 0 無し
		(kN/m)	芯 : 0 無し
		外面: 0	無し
		接合部仕様: IV	ほぞ差し、釘打ち、かすがい等
		基礎仕様: III	その他の基礎
W11	(X0,Y1)-(X0.5,Y1)	壁基準耐力=0.0	外面: 0 無し
		(kN/m)	芯 : 0 無し
		外面: 0	無し
		接合部仕様: IV	ほぞ差し、釘打ち、かすがい等
		基礎仕様: III	その他の基礎
W12	(X8,Y2)-(X8,Y3)	壁基準耐力=0.3	外面: 0 掃き出し型開口壁
		(kN/m)	芯 : 0 掃き出し型開口壁
		外面: 0	掃き出し型開口壁
		接合部仕様: IV	ほぞ差し、釘打ち、かすがい等
		基礎仕様: III	その他の基礎
W13	(X9,Y6)-(X9,Y7)	壁基準耐力=0.3	外面: 0 掃き出し型開口壁
		(kN/m)	芯 : 0 掃き出し型開口壁
		外面: 0	掃き出し型開口壁
		接合部仕様: IV	ほぞ差し、釘打ち、かすがい等
		基礎仕様: III	その他の基礎
W14	(X4,Y4)-(X4,Y0)	壁基準耐力=0.3	外面: 0 掃き出し型開口壁
		(kN/m)	芯 : 0 掃き出し型開口壁
		外面: 0	掃き出し型開口壁
		接合部仕様: IV	ほぞ差し、釘打ち、かすがい等
		基礎仕様: III	その他の基礎
W15	(X1,Y5)-(X1,Y4)	壁基準耐力=0.3	外面: 0 掃き出し型開口壁
		(kN/m)	芯 : 0 掃き出し型開口壁
		外面: 0	掃き出し型開口壁
		接合部仕様: IV	ほぞ差し、釘打ち、かすがい等
		基礎仕様: III	その他の基礎
W16	(X1,Y4)-(X1,Y2)	壁基準耐力=0.3	外面: 0 掃き出し型開口壁
		(kN/m)	芯 : 0 掃き出し型開口壁
		外面: 0	掃き出し型開口壁
		接合部仕様: IV	ほぞ差し、釘打ち、かすがい等
		基礎仕様: III	その他の基礎
HW17	(X8,Y2)-(X8,Y0)	壁基準耐力=10.0	外面: 7.8 その他(別添仕様)
		(kN/m)	芯 : 2.4 筋かい木材30x90以上, BPまたは同等品(片筋)
		外面: 0	—
		接合部仕様: I	平成12年建設省告示第1460号に適合する仕様
		基礎仕様:	同建物概要の基礎仕様
W18	(X10,Y2)-(X10.5,Y2)	壁基準耐力=0.0	外面: 0 無し
		(kN/m)	芯 : 0 無し

		外面: 0 無し
		接合部仕様: IV ほぞ差し、釘打ち、かすがい等
		基礎仕様: 同建物概要の基礎仕様
HW19	(X10,Y4)-(X10,Y5)	壁基準耐力=10.0 外面: 7.8 その他(別添仕様) (kN/m) 芯 : 2.4 筋かい木材30x90以上, BPまたは同等品(片筋)
		外面: 0 ー
		接合部仕様: I 平成12年建設省告示第1460号に適合する仕様
		基礎仕様: 同建物概要の基礎仕様
W20	(X11,Y5.5)-(X12,Y5.5)	壁基準耐力=0.0 外面: 0 無し (kN/m) 芯 : 0 無し
		外面: 0 無し
		接合部仕様: IV ほぞ差し、釘打ち、かすがい等
		基礎仕様: III その他の基礎
W21	(X10,Y5)-(X10,Y6)	壁基準耐力=1.1 外面: 1.1 石膏ボード張り(厚9以上) (kN/m) 芯 : 0 無し
		外面: 0 無し
		接合部仕様: IV ほぞ差し、釘打ち、かすがい等
		基礎仕様: 同建物概要の基礎仕様
W22	(X1,Y8)-(X3,Y8)	壁基準耐力=0.6 外面: 0 窓型開口壁 (kN/m) 芯 : 0 窓型開口壁
		外面: 0 窓型開口壁
		接合部仕様: IV ほぞ差し、釘打ち、かすがい等
		基礎仕様: 同建物概要の基礎仕様
W23	(X5,Y8)-(X7,Y8)	壁基準耐力=0.6 外面: 0 窓型開口壁 (kN/m) 芯 : 0 窓型開口壁
		外面: 0 窓型開口壁
		接合部仕様: IV ほぞ差し、釘打ち、かすがい等
		基礎仕様: 同建物概要の基礎仕様
W24	(X9.5,Y8)-(X10.5,Y8)	壁基準耐力=0.6 外面: 0 窓型開口壁 (kN/m) 芯 : 0 窓型開口壁
		外面: 0 窓型開口壁
		接合部仕様: IV ほぞ差し、釘打ち、かすがい等
		基礎仕様: 同建物概要の基礎仕様
W25	(X12,Y5.5)-(X12,Y4)	壁基準耐力=0.6 外面: 0 窓型開口壁 (kN/m) 芯 : 0 窓型開口壁
		外面: 0 窓型開口壁
		接合部仕様: IV ほぞ差し、釘打ち、かすがい等
		基礎仕様: 同建物概要の基礎仕様
W26	(X12,Y4)-(X12,Y3)	壁基準耐力=0.6 外面: 0 窓型開口壁 (kN/m) 芯 : 0 窓型開口壁
		外面: 0 窓型開口壁
		接合部仕様: IV ほぞ差し、釘打ち、かすがい等
		基礎仕様: 同建物概要の基礎仕様
W27	(X1,Y0)-(X3,Y0)	壁基準耐力=0.6 外面: 0 窓型開口壁 (kN/m) 芯 : 0 窓型開口壁

		外面: 0 窓型開口壁
		接合部仕様: IV ほぞ差し、釘打ち、かすがい等
		基礎仕様: 同建物概要の基礎仕様
W28	(X9,Y0)-(X9.5,Y0)	壁基準耐力=0.6 外面: 0 窓型開口壁 (kN/m) 芯 : 0 窓型開口壁 外面: 0 窓型開口壁
		接合部仕様: IV ほぞ差し、釘打ち、かすがい等
		基礎仕様: 同建物概要の基礎仕様
HW29	(X3,Y8)-(X4,Y8)	壁基準耐力=10.0 外面: 8.4 その他(別添仕様) (kN/m) 芯 : 2.4 筋かい木材30x90以上, BPまたは同等品(片筋) 外面: 0 -
		接合部仕様: I 平成12年建設省告示第1460号に適合する仕様
		基礎仕様: 同建物概要の基礎仕様
HW30	(X4,Y8)-(X5,Y8)	壁基準耐力=10.0 外面: 8.4 その他(別添仕様) (kN/m) 芯 : 2.4 筋かい木材30x90以上, BPまたは同等品(片筋) 外面: 0 -
		接合部仕様: I 平成12年建設省告示第1460号に適合する仕様
		基礎仕様: 同建物概要の基礎仕様
HW31	(X12,Y7)-(X12,Y5.5)	壁基準耐力=10.0 外面: 8.4 その他(別添仕様) (kN/m) 芯 : 2.4 筋かい木材30x90以上, BPまたは同等品(片筋) 外面: 0 -
		接合部仕様: I 平成12年建設省告示第1460号に適合する仕様
		基礎仕様: 同建物概要の基礎仕様
HW32	(X9.5,Y0)-(X10.5,Y0)	壁基準耐力=10.0 外面: 8.4 その他(別添仕様) (kN/m) 芯 : 2.4 筋かい木材30x90以上, BPまたは同等品(片筋) 外面: 0 -
		接合部仕様: I 平成12年建設省告示第1460号に適合する仕様
		基礎仕様: 同建物概要の基礎仕様
HW33	(X0,Y0)-(X1,Y0)	壁基準耐力=10.0 外面: 8.4 その他(別添仕様) (kN/m) 芯 : 2.4 筋かい木材30x90以上, BPまたは同等品(片筋) 外面: 0 -
		接合部仕様: I 平成12年建設省告示第1460号に適合する仕様
		基礎仕様: 同建物概要の基礎仕様
HW34	(X0,Y1)-(X0,Y0)	壁基準耐力=10.0 外面: 8.4 その他(別添仕様) (kN/m) 芯 : 2.4 筋かい木材30x90以上, BPまたは同等品(片筋) 外面: 0 -
		接合部仕様: I 平成12年建設省告示第1460号に適合する仕様
		基礎仕様: 同建物概要の基礎仕様
HW35	(X0,Y2)-(X0,Y1)	壁基準耐力=10.0 外面: 8.4 その他(別添仕様) (kN/m) 芯 : 2.4 筋かい木材30x90以上, BPまたは同等品(片筋) 外面: 0 -
		接合部仕様: I 平成12年建設省告示第1460号に適合する仕様
		基礎仕様: 同建物概要の基礎仕様
HW36	(X0,Y4)-(X0,Y2)	壁基準耐力=10.0 外面: 8.4 その他(別添仕様) (kN/m) 芯 : 2.4 筋かい木材30x90以上, BPまたは同等品(片筋)

	外面: 0	—
	接合部仕様: I	平成12年建設省告示第1460号に適合する仕様
	基礎仕様:	同建物概要の基礎仕様
HW37 (X0,Y5)-(X0,Y4)	壁基準耐力=10.0	外面: 8.4 その他(別添仕様)
	(kN/m)	芯 : 2.4 筋かい木材30x90以上,BPまたは同等品(片筋)
	外面: 0	—
	接合部仕様: I	平成12年建設省告示第1460号に適合する仕様
	基礎仕様:	同建物概要の基礎仕様
HW38 (X0,Y8)-(X0,Y6)	壁基準耐力=10.0	外面: 8.4 その他(別添仕様)
	(kN/m)	芯 : 2.4 筋かい木材30x90以上,BPまたは同等品(片筋)
	外面: 0	—
	接合部仕様: I	平成12年建設省告示第1460号に適合する仕様
	基礎仕様:	同建物概要の基礎仕様
HW39 (X0,Y6)-(X0,Y5)	壁基準耐力=10.0	外面: 8.4 その他(別添仕様)
	(kN/m)	芯 : 2.4 筋かい木材30x90以上,BPまたは同等品(片筋)
	外面: 0	—
	接合部仕様: I	平成12年建設省告示第1460号に適合する仕様
	基礎仕様:	同建物概要の基礎仕様
W40 (X11,Y8)-(X11,Y6)	壁基準耐力=0.3	外面: 0 掃き出し型開口壁
	(kN/m)	芯 : 0 掃き出し型開口壁
	外面: 0	掃き出し型開口壁
	接合部仕様: IV	ほぞ差し、釘打ち、かすがい等
	基礎仕様:	同建物概要の基礎仕様
W41 (X10,Y6)-(X11,Y6)	壁基準耐力=0.3	外面: 0 掃き出し型開口壁
	(kN/m)	芯 : 0 掃き出し型開口壁
	外面: 0	掃き出し型開口壁
	接合部仕様: IV	ほぞ差し、釘打ち、かすがい等
	基礎仕様:	同建物概要の基礎仕様
W42 (X10,Y4)-(X10,Y3)	壁基準耐力=0.3	外面: 0 掃き出し型開口壁
	(kN/m)	芯 : 0 掃き出し型開口壁
	外面: 0	掃き出し型開口壁
	接合部仕様: IV	ほぞ差し、釘打ち、かすがい等
	基礎仕様:	III その他の基礎
W43 (X9,Y7)-(X9,Y8)	壁基準耐力=2.2	外面: 1.1 石膏ボード張り(厚9以上)
	(kN/m)	芯 : 0 無し
	外面: 1.1	石膏ボード張り(厚9以上)
	接合部仕様: IV	ほぞ差し、釘打ち、かすがい等
	基礎仕様:	III その他の基礎
W44 (X4,Y4)-(X4,Y5)	壁基準耐力=2.2	外面: 1.1 石膏ボード張り(厚9以上)
	(kN/m)	芯 : 0 無し
	外面: 1.1	石膏ボード張り(厚9以上)
	接合部仕様: IV	ほぞ差し、釘打ち、かすがい等
	基礎仕様:	III その他の基礎
W45 (X4,Y5)-(X4,Y6)	壁基準耐力=0.3	外面: 0 掃き出し型開口壁
	(kN/m)	芯 : 0 掃き出し型開口壁

		外面: 0	掃き出し型開口壁
		接合部仕様: IV	ほぞ差し、釘打ち、かすがい等
		基礎仕様: III	その他の基礎
W46	(X4,Y6)-(X5.5,Y6)	壁基準耐力=2.2	外面: 1.1 石膏ボード張り(厚9以上)
		(kN/m)	芯: 0 無し
		外面: 1.1	石膏ボード張り(厚9以上)
		接合部仕様: IV	ほぞ差し、釘打ち、かすがい等
		基礎仕様: III	その他の基礎
W47	(X7,Y6)-(X8,Y6)	壁基準耐力=2.2	外面: 1.1 石膏ボード張り(厚9以上)
		(kN/m)	芯: 0 無し
		外面: 1.1	石膏ボード張り(厚9以上)
		接合部仕様: IV	ほぞ差し、釘打ち、かすがい等
		基礎仕様: III	その他の基礎
W48	(X5.5,Y6)-(X7,Y6)	壁基準耐力=0.3	外面: 0 掃き出し型開口壁
		(kN/m)	芯: 0 掃き出し型開口壁
		外面: 0	掃き出し型開口壁
		接合部仕様: IV	ほぞ差し、釘打ち、かすがい等
		基礎仕様: III	その他の基礎
HW49	(X3,Y0)-(X4,Y0)	壁基準耐力=10.0	外面: 8.4 その他(別添仕様)
		(kN/m)	芯: 2.4 筋かい木材30x90以上, BPまたは同等品(片筋)
		外面: 0	—
		接合部仕様: I	平成12年建設省告示第1460号に適合する仕様
		基礎仕様:	同建物概要の基礎仕様
HW50	(X8,Y0)-(X9,Y0)	壁基準耐力=10.0	外面: 8.4 その他(別添仕様)
		(kN/m)	芯: 2.4 筋かい木材30x90以上, BPまたは同等品(片筋)
		外面: 0	—
		接合部仕様: I	平成12年建設省告示第1460号に適合する仕様
		基礎仕様:	同建物概要の基礎仕様
HW51	(X11,Y8)-(X12,Y8)	壁基準耐力=10.0	外面: 8.4 その他(別添仕様)
		(kN/m)	芯: 2.4 筋かい木材30x90以上, BPまたは同等品(片筋)
		外面: 0	—
		接合部仕様: II	羽子板ボルト、山形プレートVP、かど金物CP-L、込み栓
		基礎仕様:	同建物概要の基礎仕様
HW52	(X7,Y8)-(X9,Y8)	壁基準耐力=10.0	外面: 8.4 その他(別添仕様)
		(kN/m)	芯: 2.4 筋かい木材30x90以上, BPまたは同等品(片筋)
		外面: 0	—
		接合部仕様: I	平成12年建設省告示第1460号に適合する仕様
		基礎仕様:	同建物概要の基礎仕様
HW53	(X9,Y8)-(X9.5,Y8)	壁基準耐力=8.4	外面: 8.4 その他(別添仕様)
		(kN/m)	芯: 0 無し
		外面: 0	—
		接合部仕様: I	平成12年建設省告示第1460号に適合する仕様
		基礎仕様:	同建物概要の基礎仕様
HW54	(X10.5,Y8)-(X11,Y8)	壁基準耐力=8.4	外面: 8.4 その他(別添仕様)
		(kN/m)	芯: 0 無し

	外面: 0	—
	接合部仕様: I	平成12年建設省告示第1460号に適合する仕様
	基礎仕様:	同建物概要の基礎仕様
HW55 (X4.5,Y0)-(X4,Y0)	壁基準耐力=8.4	外面: 8.4 その他(別添仕様)
	(kN/m) 芯	: 0 無し
	外面: 0	—
	接合部仕様: I	平成12年建設省告示第1460号に適合する仕様
	基礎仕様:	同建物概要の基礎仕様
HW56 (X7.5,Y0)-(X8,Y0)	壁基準耐力=8.4	外面: 8.4 その他(別添仕様)
	(kN/m) 芯	: 0 無し
	外面: 0	—
	接合部仕様: I	平成12年建設省告示第1460号に適合する仕様
	基礎仕様:	同建物概要の基礎仕様
HW57 (X10,Y3)-(X10.5,Y3)	壁基準耐力=7.8	外面: 7.8 その他(別添仕様)
	(kN/m) 芯	: 0 無し
	外面: 0	無し
	接合部仕様: I	平成12年建設省告示第1460号に適合する仕様
	基礎仕様:	同建物概要の基礎仕様
HW58 (X10,Y4)-(X12,Y4)	壁基準耐力=10.0	外面: 7.8 その他(別添仕様)
	(kN/m) 芯	: 2.4 筋かい木材30x90以上, BPまたは同等品(片筋)
	外面: 0	—
	接合部仕様: I	平成12年建設省告示第1460号に適合する仕様
	基礎仕様:	同建物概要の基礎仕様
HW59 (X10.5,Y3)-(X12,Y3)	壁基準耐力=8.33	外面: 6.37 その他(別添仕様)
	(kN/m) 芯	: 1.96 その他(別添仕様)
	外面: 0	—
	接合部仕様: II	羽子板ボルト、山形プレートVP、かど金物CP-L、込み栓
	基礎仕様:	同建物概要の基礎仕様
HW60 (X10.5,Y2)-(X10.5,Y3)	壁基準耐力=10.0	外面: 7.8 その他(別添仕様)
	(kN/m) 芯	: 2.4 筋かい木材30x90以上, BPまたは同等品(片筋)
	外面: 0	—
	接合部仕様: I	平成12年建設省告示第1460号に適合する仕様
	基礎仕様:	同建物概要の基礎仕様
W61 (X10,Y2)-(X10,Y3)	壁基準耐力=0.3	外面: 0 掃き出し型開口壁
	(kN/m) 芯	: 0 掃き出し型開口壁
	外面: 0	掃き出し型開口壁
	接合部仕様: IV	ほぞ差し、釘打ち、かすがい等
	基礎仕様: III	その他の基礎
HW62 (X10.5,Y2)-(X10.5,Y1.5)	壁基準耐力=7.8	外面: 7.8 その他(別添仕様)
	(kN/m) 芯	: 0 無し
	外面: 0	無し
	接合部仕様: I	平成12年建設省告示第1460号に適合する仕様
	基礎仕様:	同建物概要の基礎仕様

<2階> 壁

Wee2012(Win10) Ver2.0.0 P.11

2025/09/19 15:16:53

HW1	(X7,Y8)-(X8,Y8)	壁基準耐力=10.0 外面: 8.4 その他(別添仕様) (kN/m) 芯 : 2.4 筋かい木材30x90以上, BPまたは同等品(片筋) 外面: 0 無し
		接合部仕様: I 平成12年建設省告示第1460号に適合する仕様
W2	(X3.5,Y3)-(X4,Y3)	壁基準耐力=0.0 外面: 0 無し (kN/m) 芯 : 0 無し 外面: 0 無し
		接合部仕様: IV ほぞ差し、釘打ち、かすがい等
W3	(X5,Y8)-(X7,Y8)	壁基準耐力=0.6 外面: 0 窓型開口壁 (kN/m) 芯 : 0 窓型開口壁 外面: 0 窓型開口壁
		接合部仕様: IV ほぞ差し、釘打ち、かすがい等
W4	(X8,Y8)-(X10,Y8)	壁基準耐力=0.6 外面: 0 窓型開口壁 (kN/m) 芯 : 0 窓型開口壁 外面: 0 窓型開口壁
		接合部仕様: IV ほぞ差し、釘打ち、かすがい等
W5	(X12,Y6)-(X12,Y4)	壁基準耐力=0.6 外面: 0 窓型開口壁 (kN/m) 芯 : 0 窓型開口壁 外面: 0 窓型開口壁
		接合部仕様: IV ほぞ差し、釘打ち、かすがい等
W6	(X7,Y8)-(X7,Y7)	壁基準耐力=0.3 外面: 0 掃き出し型開口壁 (kN/m) 芯 : 0 掃き出し型開口壁 外面: 0 掃き出し型開口壁
		接合部仕様: IV ほぞ差し、釘打ち、かすがい等
W7	(X7,Y6)-(X8,Y6)	壁基準耐力=0.3 外面: 0 掃き出し型開口壁 (kN/m) 芯 : 0 掃き出し型開口壁 外面: 0 掃き出し型開口壁
		接合部仕様: IV ほぞ差し、釘打ち、かすがい等
W8	(X9,Y7)-(X10,Y7)	壁基準耐力=0.3 外面: 0 掃き出し型開口壁 (kN/m) 芯 : 0 掃き出し型開口壁 外面: 0 掃き出し型開口壁
		接合部仕様: IV ほぞ差し、釘打ち、かすがい等
W9	(X10,Y7)-(X12,Y7)	壁基準耐力=0.3 外面: 0 掃き出し型開口壁 (kN/m) 芯 : 0 掃き出し型開口壁 外面: 0 掃き出し型開口壁
		接合部仕様: IV ほぞ差し、釘打ち、かすがい等
W10	(X5,Y6)-(X7,Y6)	壁基準耐力=2.2 外面: 1.1 石膏ボード張り(厚9以上) (kN/m) 芯 : 0 無し 外面: 1.1 石膏ボード張り(厚9以上)
		接合部仕様: IV ほぞ差し、釘打ち、かすがい等
HW11	(X12,Y4)-(X12,Y3)	壁基準耐力=10.0 外面: 7.8 その他(別添仕様) (kN/m) 芯 : 2.4 筋かい木材30x90以上, BPまたは同等品(片筋) 外面: 0 無し
		接合部仕様: I 平成12年建設省告示第1460号に適合する仕様
HW12	(X11,Y3)-(X12,Y3)	壁基準耐力=10.0 外面: 7.8 その他(別添仕様)

		(kN/m) 芯 : 2.4 筋かい木材30x90以上, BPまたは同等品(片筋)
		外面: 0 無し
		接合部仕様: I 平成12年建設省告示第1460号に適合する仕様
W13	(X8,Y3)-(X8,Y4)	壁基準耐力=0.0 外面: 0 無し
		(kN/m) 芯 : 0 無し
		外面: 0 無し
		接合部仕様: IV ほぞ差し, 釘打ち, かすがい等
W14	(X7,Y3)-(X8,Y3)	壁基準耐力=0.0 外面: 0 無し
		(kN/m) 芯 : 0 無し
		外面: 0 無し
		接合部仕様: IV ほぞ差し, 釘打ち, かすがい等
W15	(X3.5,Y6)-(X3.5,Y5)	壁基準耐力=1.1 外面: 1.1 石膏ボード張り(厚9以上)
		(kN/m) 芯 : 0 無し
		外面: 0 無し
		接合部仕様: IV ほぞ差し, 釘打ち, かすがい等
W16	(X3.5,Y5)-(X3.5,Y3)	壁基準耐力=1.1 外面: 1.1 石膏ボード張り(厚9以上)
		(kN/m) 芯 : 0 無し
		外面: 0 無し
		接合部仕様: IV ほぞ差し, 釘打ち, かすがい等
W17	(X4,Y3)-(X5,Y3)	壁基準耐力=1.1 外面: 1.1 石膏ボード張り(厚9以上)
		(kN/m) 芯 : 0 無し
		外面: 0 無し
		接合部仕様: IV ほぞ差し, 釘打ち, かすがい等
W18	(X3.5,Y8)-(X3.5,Y6)	壁基準耐力=1.1 外面: 1.1 石膏ボード張り(厚9以上)
		(kN/m) 芯 : 0 無し
		外面: 0 無し
		接合部仕様: IV ほぞ差し, 釘打ち, かすがい等
W19	(X7,Y7)-(X7,Y6)	壁基準耐力=1.1 外面: 1.1 石膏ボード張り(厚9以上)
		(kN/m) 芯 : 0 無し
		外面: 0 無し
		接合部仕様: IV ほぞ差し, 釘打ち, かすがい等
W20	(X8,Y4)-(X8,Y6)	壁基準耐力=1.1 外面: 1.1 石膏ボード張り(厚9以上)
		(kN/m) 芯 : 0 無し
		外面: 0 無し
		接合部仕様: IV ほぞ差し, 釘打ち, かすがい等
HW21	(X10,Y8)-(X12,Y8)	壁基準耐力=10.0 外面: 8.4 その他(別添仕様)
		(kN/m) 芯 : 2.4 筋かい木材30x90以上, BPまたは同等品(片筋)
		外面: 0 無し
		接合部仕様: I 平成12年建設省告示第1460号に適合する仕様
HW22	(X9,Y5)-(X9,Y7)	壁基準耐力=10.0 外面: 8.4 その他(別添仕様)
		(kN/m) 芯 : 2.4 筋かい木材30x90以上, BPまたは同等品(片筋)
		外面: 0 無し
		接合部仕様: IV ほぞ差し, 釘打ち, かすがい等
HW23	(X10,Y7)-(X10,Y8)	壁基準耐力=10.0 外面: 8.4 その他(別添仕様)
		(kN/m) 芯 : 2.4 筋かい木材30x90以上, BPまたは同等品(片筋)

	外面: 0 無し
	接合部仕様: IV ほぞ差し、釘打ち、かすがい等
HW24 (X12,Y7)-(X12,Y8)	壁基準耐力=10.0 外面: 8.4 その他(別添仕様) (kN/m) 芯 : 2.4 筋かい木材30x90以上, BPまたは同等品(片筋)
	外面: 0 無し
	接合部仕様: IV ほぞ差し、釘打ち、かすがい等
W25 (X4,Y6)-(X5,Y6)	壁基準耐力=1.1 外面: 1.1 石膏ボード張り(厚9以上) (kN/m) 芯 : 0 無し
	外面: 0 無し
	接合部仕様: IV ほぞ差し、釘打ち、かすがい等
W26 (X3.5,Y6)-(X4,Y6)	壁基準耐力=0.0 外面: 0 無し (kN/m) 芯 : 0 無し
	外面: 0 無し
	接合部仕様: IV ほぞ差し、釘打ち、かすがい等
HW27 (X3.5,Y8)-(X5,Y8)	壁基準耐力=9.99 外面: 8.4 その他(別添仕様) (kN/m) 芯 : 1.59 その他(別添仕様)
	外面: 0 無し
	接合部仕様: 同建物概要の接合部仕様
HW28 (X9,Y5)-(X9,Y3)	壁基準耐力=10.0 外面: 8.4 その他(別添仕様) (kN/m) 芯 : 2.4 筋かい木材30x90以上, BPまたは同等品(片筋)
	外面: 0 無し
	接合部仕様: IV ほぞ差し、釘打ち、かすがい等
HW29 (X12,Y7)-(X12,Y6)	壁基準耐力=10.0 外面: 8.4 その他(別添仕様) (kN/m) 芯 : 2.4 筋かい木材30x90以上, BPまたは同等品(片筋)
	外面: 0 無し
	接合部仕様: IV ほぞ差し、釘打ち、かすがい等

3. 必要耐力の算出 (表3.1)

- A : 床面積 (m<sup>2</sup>)
- Q<sub>y</sub> : 床面積当たり必要耐力 (kN/m<sup>2</sup>)
- Q<sub>s</sub> : 積雪用必要耐力 (kN/m<sup>2</sup>)
- Z : 地域係数
- α : 地盤による割増係数
- β : 形状割増係数
- γ : 混構造割増係数
- Q<sub>r</sub> : 必要耐力 (kN)

階	A	Q <sub>y</sub>	Q <sub>s</sub>	Z	α	β	γ	Q <sub>r</sub>
2	35.19	0.37	0.36	0.9	1.0	1.00	1.0	23.25
1	79.50	0.83	0.36	0.9	1.0	1.00	1.0	85.43

4. 領域毎の必要耐力の算出 (耐力要素の配置などによる低減係数算出用)

- A : 床面積 (m<sup>2</sup>)
- Q<sub>y</sub> : 床面積当たり必要耐力 (kN/m<sup>2</sup>)
- Q<sub>s</sub> : 積雪用必要耐力 (kN/m<sup>2</sup>)
- Z : 地域係数
- α : 地盤による割増係数
- β : 形状割増係数
- γ : 混構造割増係数
- Q<sub>r</sub> : 必要耐力 (kN)

階	方向	領域	A	Q <sub>y</sub>	Q <sub>s</sub>	Z	α	β	γ	Q <sub>r</sub>
2	X	a	8.80	0.37	0.36	0.9	1.0	1.00	1.0	5.81
		b	8.80	0.37	0.36	0.9	1.0	1.00	1.0	5.81
	Y	い	8.80	0.37	0.36	0.9	1.0	1.00	1.0	5.81
		ロ	8.80	0.37	0.36	0.9	1.0	1.00	1.0	5.81
1	X	a	19.87	0.83	0.36	0.9	1.0	1.00	1.0	21.36
		b	19.87	0.28	0.36	0.9	1.0	1.00	1.0	11.52
	Y	い	19.87	0.28	0.36	0.9	1.0	1.00	1.0	11.52
		ロ	19.87	0.83	0.36	0.9	1.0	1.00	1.0	21.36

5. 壁の耐力の算出

No. : 壁番号

Fw : 壁基準耐力 (kN/m)

sKj : 接合部耐力低減係数、壁基準耐力及び積雪深により直線補間した値

①壁基準耐力による直線補間の計算方法、KjはFwにおける低減係数

壁耐力 Fw1 [Fw] Fw2

低減係数 Kj1 [Kj] Kj2

$$Kj = Kj1 + \{ (Kj2 - Kj1) / (Fw2 - Fw1) \} \times (Fw - Fw1)$$

②積雪深による直線補間の計算方法、sKjは積雪深Sにおける低減係数

積雪深 S1 [S] S2

低減係数 sKj1 [sKj] sKj2

注)sKjは壁耐力で補間した多雪区域の低減係数

$$sKj = sKj1 + \{ (sKj2 - sKj1) / (S2 - S1) \} \times (S - S1)$$

(Ka) : 開口壁における連続長さとの開口形状による調整係数

窓が掃出しと隣接する場合、掃出しとみなすため、Ka=0.5

開口壁の連続長さが3mを超える場合は、Ka=3000/L

窓が掃出しと隣接し、連続長さが3mを超える場合は、Ka=0.5 × 3000/L

無開口壁と隣接しない場合は、Ka=0

L : 壁長 (mm)

Qwi : 各壁の耐力 (kN)

Qw : 領域内の壁の耐力の合計 (kN)

Qe : その他の耐震要素の耐力 (kN)

Qu : 壁・柱の耐力 (kN) Qu=Qw+Qe

階	方向	領域	No.	Fw		sKj (sKa)		L	=	Qwi	Qw	Qe	Qu
1	X	a	HW1	10.00	×	0.820	×	910	=	7.46	52.33	10.78	63.11
			W22	0.60	×	(1.000)	×	1,820	=	1.09			
			W23	0.60	×	(1.000)	×	1,820	=	1.09			
			W24	0.60	×	(1.000)	×	910	=	0.55			
			HW29	10.00	×	0.820	×	910	=	7.46			
			HW30	10.00	×	0.890	×	910	=	8.10			
			W41	0.30	×	(0.000)	×	910	=	0.00			
			W46	2.20	×	1.000	×	1,365	=	3.00			
			W47	2.20	×	1.000	×	910	=	2.00			
			W48	0.30	×	(1.000)	×	1,365	=	0.41			
			HW51	10.00	×	0.890	×	910	=	8.10			
			HW52	10.00	×	0.890	×	1,820	=	16.20			
			HW53	8.40	×	(1.000)	×	455	=	3.82			
		HW54	8.40	×	(1.000)	×	455	=	3.82				
		中	W3	2.20	×	0.958	×	910	=	1.92	30.15	3.55	33.70
			W4	2.20	×	0.958	×	910	=	1.92			
			W20	0.00	×	(0.000)	×	910	=	0.00			
			HW57	7.80	×	(1.000)	×	455	=	3.55			
			HW58	10.00	×	0.890	×	1,820	=	16.20			
		HW59	8.33	×	0.890	×	1,365	=	10.12				
		b	W6	1.10	×	1.000	×	910	=	1.00			
W11	0.00		×	(0.000)	×	455	=	0.00					
W18	0.00		×	(0.000)	×	455	=	0.00					

階	方向	領域	No.	Fw		sKj (sKa)		L		Qwi	Qw	Qe	Qu	
			W27	0.60	×	(1.000)	×	1,820	=	1.09				
			W28	0.60	×	(1.000)	×	455	=	0.27				
			HW32	10.00	×	0.820	×	910	=	7.46				
			HW33	10.00	×	0.820	×	910	=	7.46				
			HW49	10.00	×	0.820	×	910	=	7.46				
			HW50	10.00	×	0.820	×	910	=	7.46				
			HW55	8.40	×	(1.000)	×	455	=	3.82				
			HW56	8.40	×	(1.000)	×	455	=	3.82				
		Σ								113.33	16.24	129.57		
1	Y	イ	W15	0.30	×	(0.000)	×	910	=	0.00				
			W16	0.30	×	(0.000)	×	1,820	=	0.00				
			HW34	10.00	×	0.820	×	910	=	7.46				
			HW35	10.00	×	0.820	×	910	=	7.46				
			HW36	10.00	×	0.820	×	1,820	=	14.92				
			HW37	10.00	×	0.820	×	910	=	7.46				
			HW38	10.00	×	0.820	×	1,820	=	14.92				
			HW39	10.00	×	0.820	×	910	=	7.46				
												59.70	0.00	59.70
		中	W5	2.20	×	1.000	×	1,820	=	4.00				
			W9	0.30	×	(0.824)	×	910	=	0.23				
			W10	0.30	×	(0.824)	×	1,820	=	0.45				
			W12	0.30	×	(0.824)	×	910	=	0.23				
			W14	0.30	×	(0.824)	×	3,640	=	0.90				
			HW17	10.00	×	0.820	×	1,820	=	14.92				
			W44	2.20	×	1.000	×	910	=	2.00				
			W45	0.30	×	(1.000)	×	910	=	0.27				
												20.93	2.07	23.00
		ロ	HW2	10.00	×	0.890	×	910	=	8.10				
			W7	1.10	×	1.000	×	910	=	1.00				
			W8	0.00	×	(0.000)	×	455	=	0.00				
			W13	0.30	×	(1.000)	×	910	=	0.27				
			HW19	10.00	×	0.890	×	910	=	8.10				
			W21	1.10	×	1.000	×	910	=	1.00				
			W25	0.60	×	(1.000)	×	1,365	=	0.82				
			W26	0.60	×	(1.000)	×	910	=	0.55				
			HW31	10.00	×	0.890	×	1,365	=	12.15				
			W40	0.30	×	(0.000)	×	1,820	=	0.00				
W42	0.30		×	(1.000)	×	910	=	0.27						
W43	2.20		×	1.000	×	910	=	2.00						
HW60	10.00		×	0.820	×	910	=	7.46						
W61	0.30		×	(1.000)	×	910	=	0.27						
HW62	7.80	×	(1.000)	×	455	=	3.55							
		Σ								39.81	5.73	45.55		
		Σ								120.44	7.81	128.24		
2	X	a	HW1	10.00	×	1.000	×	910	=	9.10				
			W3	0.60	×	(1.000)	×	1,820	=	1.09				
			W4	0.60	×	(1.000)	×	1,820	=	1.09				

階	方向	領域	No.	Fw		sKj (sKa)		L		Qwi	Qw	Qe	Qu
			W8	0.30	×	(0.000)	×	910	=	0.00	35.21	2.18	37.39
			W9	0.30	×	(0.000)	×	1,820	=	0.00			
			HW21	10.00	×	1.000	×	1,820	=	18.20			
			HW27	9.99	×	0.580	×	1,365	=	7.91			
		中	W7	0.30	×	(1.000)	×	910	=	0.27	4.84	0.27	5.11
			W10	2.20	×	0.958	×	1,820	=	3.84			
			W25	1.10	×	1.000	×	910	=	1.00			
			W26	0.00	×	(1.000)	×	455	=	0.00			
		b	W2	0.00	×	(1.000)	×	455	=	0.00	10.10	0.00	10.10
			HW12	10.00	×	1.000	×	910	=	9.10			
			W14	0.00	×	(0.000)	×	910	=	0.00			
			W17	1.10	×	1.000	×	910	=	1.00			
				Σ								50.15	2.46
2	Y	イ	W15	1.10	×	1.000	×	910	=	1.00	5.01	0.00	5.01
			W16	1.10	×	1.000	×	1,820	=	2.00			
			W18	1.10	×	1.000	×	1,820	=	2.00			
		中	W6	0.30	×	(1.000)	×	910	=	0.27	24.12	0.27	24.39
			W13	0.00	×	(1.000)	×	910	=	0.00			
			W19	1.10	×	1.000	×	910	=	1.00			
			W20	1.10	×	1.000	×	1,820	=	2.00			
			HW22	10.00	×	0.580	×	1,820	=	10.56			
			HW28	10.00	×	0.580	×	1,820	=	10.56			
		ロ	W5	0.60	×	(1.000)	×	1,820	=	1.09	24.93	1.09	26.03
			HW11	10.00	×	1.000	×	910	=	9.10			
			HW23	10.00	×	0.580	×	910	=	5.28			
			HW24	10.00	×	0.580	×	910	=	5.28			
			HW29	10.00	×	0.580	×	910	=	5.28			
		Σ								54.05	1.37	55.42	

6. 耐力要素の配置等による低減係数 【床の仕様】Ⅲ 火打ちなし(4m以上の吹き抜けなし)

階	方向	領域	領域の必要耐力 Qr	領域の無開口壁の耐力 Qw	充足率 Qw/Qr	耐力要素の配置等による 低減係数 eKfl
2	X	a	5.81	35.21	6.06	1.00
		b	5.81	10.10	1.74	
	Y	イ	5.81	5.01	0.86	0.48
		ロ	5.81	24.93	4.29	
1	X	a	21.36	52.33	2.45	1.00
		b	11.52	30.85	2.68	
	Y	イ	11.52	59.70	5.18	1.00
		ロ	21.36	39.81	1.86	

7. 劣化度による低減係数 【築10年以上】

部位	材料、部材等	劣化事象	存在点数	劣化点数	
屋根 葺き材	金属板	変退色、さび、さび穴、ずれ、めくれがある	2		
	瓦・スレート	割れ、欠け、ずれ、欠落がある			
樋	軒・呼び樋	変退色、さび、割れ、ずれ、欠落がある			
	縦樋	変退色、さび、割れ、ずれ、欠落がある			
外壁 仕上げ	木製板、合板	水浸み痕、こけ、割れ、抜け節、ずれ、腐朽がある	4	4	
	窯業系サイディング	こけ、割れ、ずれ、欠落、シール切れがある			
	金属サイディング	変退色、さび、さび穴、ずれ、めくれ、目地空き、シール切れがある			
	モルタル	こけ、0.3mm以上の亀裂、剥落がある			
	露出した躯体	水浸み痕、こけ、腐朽、蟻道、蟻害がある	2	2	
バルコニー 手すり 壁	木製板、合板	水浸み痕、こけ、割れ、抜け節、ずれ、腐朽がある			
	窯業系サイディング	こけ、割れ、ずれ、欠落、シール切れがある			
	金属サイディング	変退色、さび、さび穴、ずれ、めくれ、目地空き、シール切れがある			
	外壁との接合部	外壁面との接合部に亀裂、隙間、緩み、シール切れ・剥離がある			
	床排水	壁面を伝って流れている、または排水の仕組みが無い			
内壁	一般室 内壁、窓下	水浸み痕、はがれ、亀裂、カビがある	2		
	浴室	タイル壁	目地の亀裂、タイルの割れがある	2	
		タイル以外	水浸み痕、変色、亀裂、カビ、腐朽、蟻害がある		
床	一般室 床面	傾斜、過度の振動、床鳴りがある	2	2	
	廊下 床下	傾斜、過度の振動、床鳴りがある	1	1	
		基礎のひび割れや床下部材に腐朽、蟻道、蟻害がある	2		
合計			17	9	

劣化度による低減係数  $dK = 1 - (\text{劣化点数} / \text{存在点数}) = 0.70$

8. 上部構造評点

階	方向	壁・柱の耐力 Qu (kN)	配置等による 低減係数 eKfl	劣化度 dK	保有する耐力 edQu=Qu*eKfl*dK	必要耐力 Qr (kN)	上部構造評点 edQu/Qr
2	X	52.60	1.00	0.70	36.82	23.25	1.58
	Y	55.42	0.48	0.70	18.63	23.25	0.80
1	X	129.57	1.00	0.70	90.70	85.43	1.06
	Y	128.24	1.00	0.70	89.77	85.43	1.05

(注)プログラムの計算は実数で行っている。上部構造評点(edQu/Qr)に対しては小数点第3位を切り捨てる。

## 耐震診断依頼者 M様邸 様

## 総合評価（計算結果）

## 【地盤】

地盤	施されている対策の程度	記入	注意事項
よい・普通の地盤		○	最大予想震度6強 液状化発生の可能性がある地域です。
悪い地盤			
非常に悪い地盤 (埋立地、盛土、 軟弱地盤)	表層の地盤改良を行っている		
	杭基礎である 特別な対策を行っていない		

## 【地形】

地形	施されている対策の程度	記入	注意事項
平坦・普通		○	特になし。
がけ地・急斜面	コンクリート擁壁		
	石積み 特別な対策を行っていない		

## 【基礎】

基礎仕様	状態	記入	注意事項
鉄筋コンクリート基礎	健全	○	ひび割れが発生している場合、内部の鉄筋が錆びて、コンクリートを壊す可能性があります。 補修が必要です。
	ひび割れが生じている		
無筋コンクリート基礎	健全		
	軽微なひび割れが生じている		
玉石基礎	ひび割れが生じている		
	足固めあり		
その他(ブロック基礎等)	足固めなし		

## 【上部構造】

上部構造評点のうち最小の値	0.80（倒壊する可能性がある）
---------------	------------------

注) 1.5以上:倒壊しない 1.0~1.5未満:一応倒壊しない 0.7~1.0未満:倒壊する可能性がある 0.7未満:倒壊する可能性が高い

## 【計算メッセージ】

※1.その他(別添仕様)の壁が使用されています。	※2.基礎・接合部の仕様が個別設定された壁があります。
--------------------------	-----------------------------

## 【その他注意事項】

【コメントを入力すること。】
----------------

診断者	君 興治	講習会	主催者	公共団体 (札幌市木造住宅耐震診断)
所属	株式会社 アトリエキミ		講習修了番号	500
連絡先	札幌市中央区双子山3丁目3-18 TEL:011-213-9263			

2012年改訂版 木造住宅の耐震診断と補強方法  
 一般診断法による診断プログラム Wee2012 (Win10)

「一般診断法」による補強計算

方法1、表3.1ルート

一般財団法人 日本建築防災協会

\* 方法1は、在来軸組構法や枠組壁工法など、壁を主な耐震要素とした住宅を主な対象とする。

\* 表3.1ルートは、「必要耐力」に表3.1を、「耐力要素の配置等による低減係数 $e_{kf1}$ 」に四分割法を用いた計算方法です。

1. 建物概要

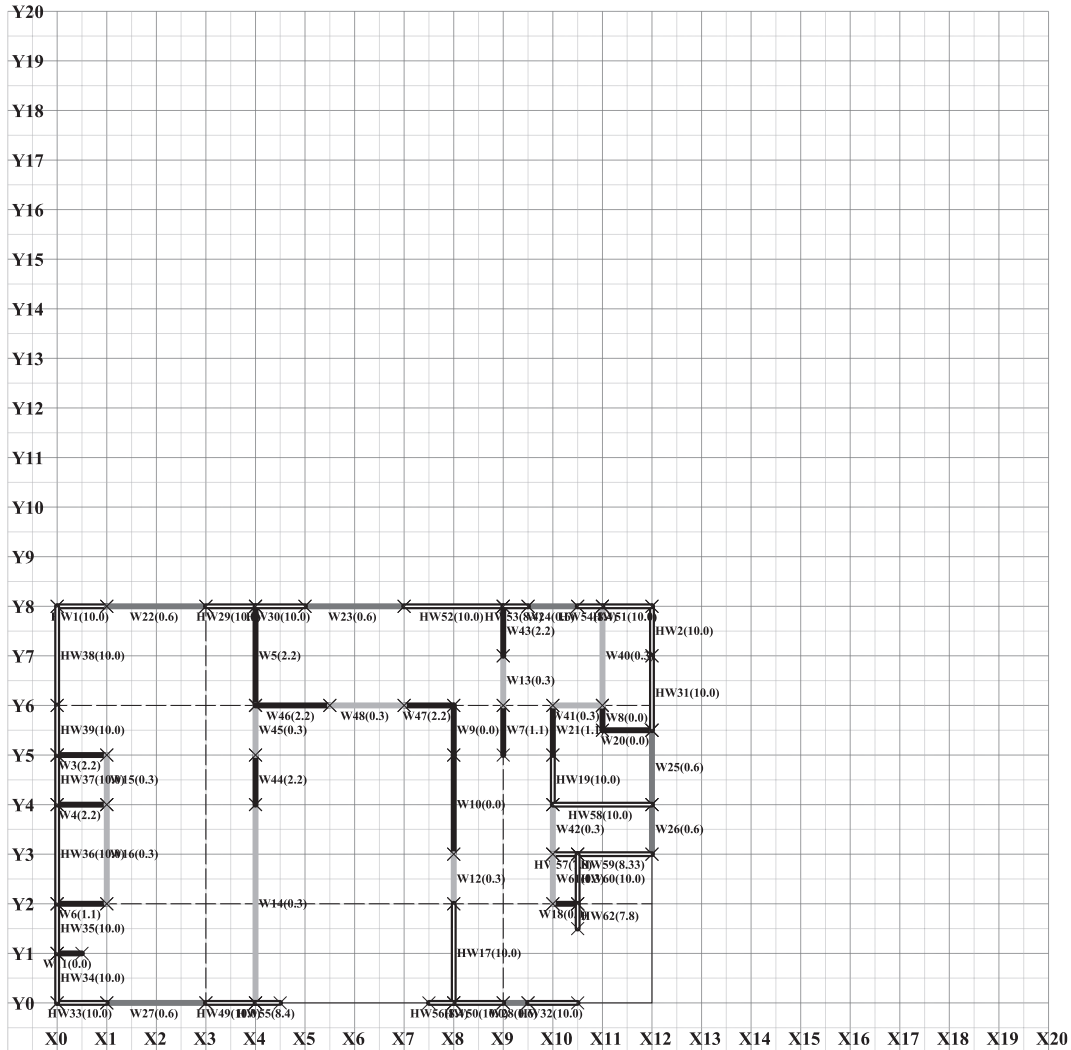
① 建物名称	: M様邸
② 所在地	: 札幌市手稲区
③ 竣工年	: 昭和 55年 築10年以上 ※調査日: 2022年 5月 22日
④ 建物仕様	: 木造2階建 軽い建物 (屋根仕様:鉄板葺等 壁仕様:木ずり下地モルタル塗り)
⑤ 地域係数 Z	: 0.9
⑥ 地盤による割増	: 1.0
⑦ 形状割増係数	: 1階=1.00
⑧ 積雪深	: 140cm (多雪区域)
⑨ 基礎仕様	: II <small>ひび割れのある鉄筋コンクリートの布基礎又はべた基礎、無筋コンクリートの布基礎、柱脚に足固めを設け 鉄筋コンクリート底盤に柱脚または足固め緊結した玉石基礎、軽微なひび割れのある無筋コンクリート造の基礎</small>
⑩ 床仕様	: III 火打ちなし (4m以上の吹き抜けなし)
⑪ 主要な柱の径	: 120mm未満
⑫ 接合部仕様	: IV ほぞ差し、釘打ち、かすがい等
* パスとファイル	: C:\Users\Atelierkimi\Desktop\牧野様雪あり訂正11.02.w20

Wee2012(Win10) Ver2.0.0 P.2

2025/09/19 14:57:09

## 2. 壁配置図

1階 (1モジュール=910mm)



注) Wi :壁番号、()内は壁の耐力

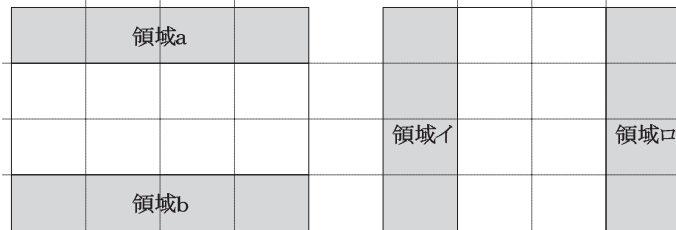
HWi :補強した壁又は補強のために設けた壁

— 無開口壁    - - - 窓型開口壁    ■ 掃出し型開口壁

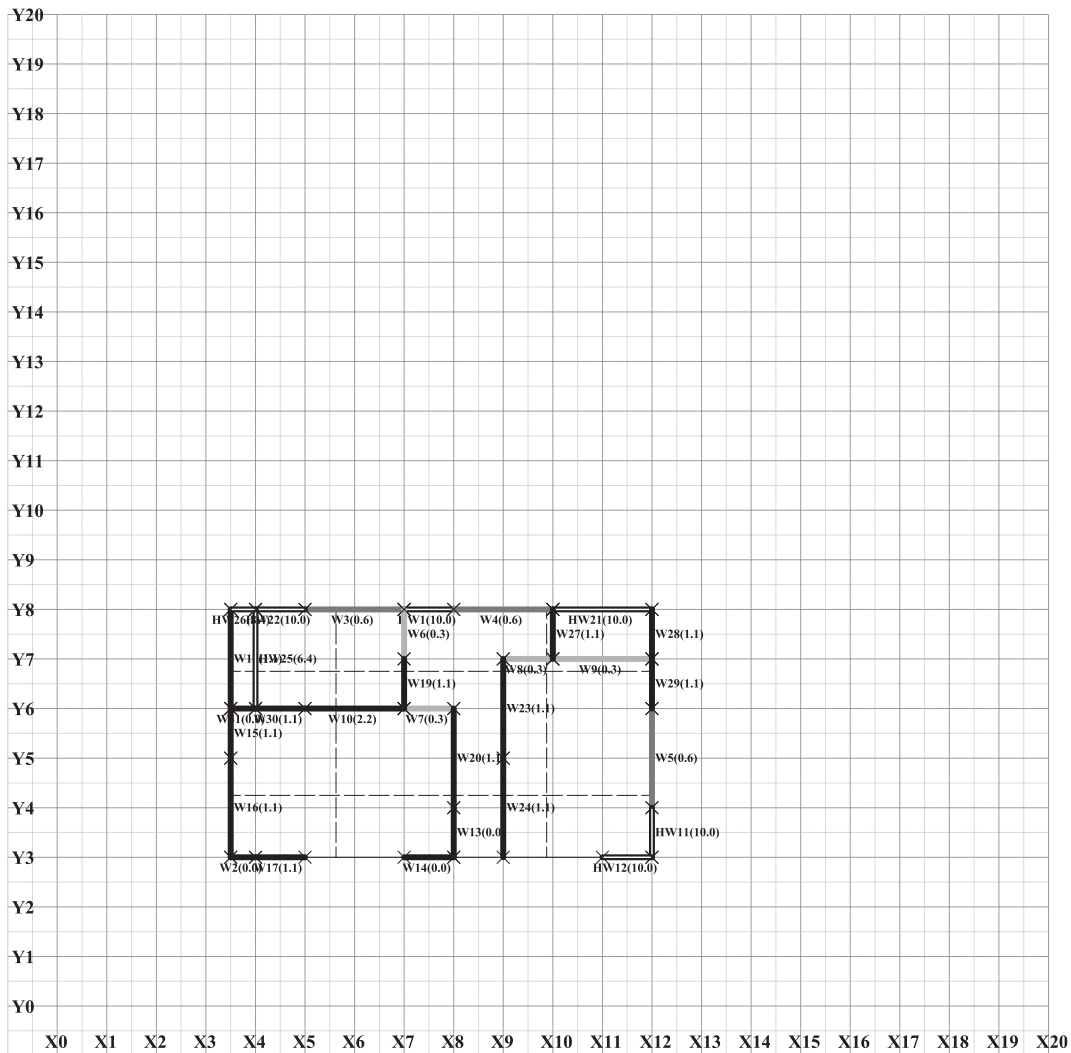
1階各領域の面積

領域	面積 (㎡)
a	19.87
b	19.87
イ	19.87
ロ	19.87
全体	79.50

領域凡例



2階 (1モジュール=910mm)



注) Wi : 壁番号、( )内は壁の耐力  
 HWi : 補強した壁又は補強のために設けた壁  
 ■ 無開口壁   ■ 窓型開口壁   ■ 掃出し型開口壁

2階各領域の面積

領域	面積 (㎡)
a	8.80
b	8.80
イ	8.80
ロ	8.80
全体	35.19

■部材リスト [その他(別添仕様)がある場合は、具体的仕様がわかる資料を添付]  
[HWi, HCi, HTi, HTKiは補強した部材又は補強のために設ける部材を示す。]

## &lt;1階&gt; 壁

HW1	(X0,Y8)-(X1,Y8)	壁基準耐力=10.0 外面: 8.4 その他(別添仕様) (kN/m) 芯 : 2.4 筋かい木材30x90以上, BPまたは同等品(片筋) 外面: 0 ー
		接合部仕様: I 平成12年建設省告示第1460号に適合する仕様 基礎仕様: 同建物概要の基礎仕様
HW2	(X12,Y8)-(X12,Y7)	壁基準耐力=10.0 外面: 8.4 その他(別添仕様) (kN/m) 芯 : 2.4 筋かい木材30x90以上, BPまたは同等品(片筋) 外面: 0 無し
		接合部仕様: II 羽子板ボルト、山形プレートVP、かど金物CP-L、込み栓 基礎仕様: 同建物概要の基礎仕様
W3	(X0,Y5)-(X1,Y5)	壁基準耐力=2.2 外面: 1.1 石膏ボード張り(厚9以上) (kN/m) 芯 : 0 無し 外面: 1.1 石膏ボード張り(厚9以上)
		接合部仕様: IV ほぞ差し、釘打ち、かすがい等 基礎仕様: III その他の基礎
W4	(X0,Y4)-(X1,Y4)	壁基準耐力=2.2 外面: 1.1 石膏ボード張り(厚9以上) (kN/m) 芯 : 0 無し 外面: 1.1 石膏ボード張り(厚9以上)
		接合部仕様: IV ほぞ差し、釘打ち、かすがい等 基礎仕様: III その他の基礎
W5	(X4,Y8)-(X4,Y6)	壁基準耐力=2.2 外面: 1.1 石膏ボード張り(厚9以上) (kN/m) 芯 : 0 無し 外面: 1.1 石膏ボード張り(厚9以上)
		接合部仕様: IV ほぞ差し、釘打ち、かすがい等 基礎仕様: III その他の基礎
W6	(X0,Y2)-(X1,Y2)	壁基準耐力=1.1 外面: 1.1 石膏ボード張り(厚9以上) (kN/m) 芯 : 0 無し 外面: 0 無し
		接合部仕様: IV ほぞ差し、釘打ち、かすがい等 基礎仕様: III その他の基礎
W7	(X9,Y6)-(X9,Y5)	壁基準耐力=1.1 外面: 1.1 石膏ボード張り(厚9以上) (kN/m) 芯 : 0 無し 外面: 0 無し
		接合部仕様: IV ほぞ差し、釘打ち、かすがい等 基礎仕様: III その他の基礎
W8	(X11,Y6)-(X11,Y5.5)	壁基準耐力=0.0 外面: 0 無し (kN/m) 芯 : 0 無し 外面: 0 無し
		接合部仕様: IV ほぞ差し、釘打ち、かすがい等 基礎仕様: III その他の基礎
W9	(X8,Y6)-(X8,Y5)	壁基準耐力=0.0 外面: 0 無し (kN/m) 芯 : 0 無し

		外面: 0	無し
		接合部仕様: IV	ほぞ差し、釘打ち、かすがい等
		基礎仕様: III	その他の基礎
W10	(X8,Y5)-(X8,Y3)	壁基準耐力=0.0	外面: 0 無し
		(kN/m)	芯 : 0 無し
		外面: 0	無し
		接合部仕様: IV	ほぞ差し、釘打ち、かすがい等
		基礎仕様: III	その他の基礎
W11	(X0,Y1)-(X0.5,Y1)	壁基準耐力=0.0	外面: 0 無し
		(kN/m)	芯 : 0 無し
		外面: 0	無し
		接合部仕様: IV	ほぞ差し、釘打ち、かすがい等
		基礎仕様: III	その他の基礎
W12	(X8,Y2)-(X8,Y3)	壁基準耐力=0.3	外面: 0 掃き出し型開口壁
		(kN/m)	芯 : 0 掃き出し型開口壁
		外面: 0	掃き出し型開口壁
		接合部仕様: IV	ほぞ差し、釘打ち、かすがい等
		基礎仕様: III	その他の基礎
W13	(X9,Y6)-(X9,Y7)	壁基準耐力=0.3	外面: 0 掃き出し型開口壁
		(kN/m)	芯 : 0 掃き出し型開口壁
		外面: 0	掃き出し型開口壁
		接合部仕様: IV	ほぞ差し、釘打ち、かすがい等
		基礎仕様: III	その他の基礎
W14	(X4,Y4)-(X4,Y0)	壁基準耐力=0.3	外面: 0 掃き出し型開口壁
		(kN/m)	芯 : 0 掃き出し型開口壁
		外面: 0	掃き出し型開口壁
		接合部仕様: IV	ほぞ差し、釘打ち、かすがい等
		基礎仕様: III	その他の基礎
W15	(X1,Y5)-(X1,Y4)	壁基準耐力=0.3	外面: 0 掃き出し型開口壁
		(kN/m)	芯 : 0 掃き出し型開口壁
		外面: 0	掃き出し型開口壁
		接合部仕様: IV	ほぞ差し、釘打ち、かすがい等
		基礎仕様: III	その他の基礎
W16	(X1,Y4)-(X1,Y2)	壁基準耐力=0.3	外面: 0 掃き出し型開口壁
		(kN/m)	芯 : 0 掃き出し型開口壁
		外面: 0	掃き出し型開口壁
		接合部仕様: IV	ほぞ差し、釘打ち、かすがい等
		基礎仕様: III	その他の基礎
HW17	(X8,Y2)-(X8,Y0)	壁基準耐力=10.0	外面: 7.8 その他(別添仕様)
		(kN/m)	芯 : 2.4 筋かい木材30x90以上, BPまたは同等品(片筋)
		外面: 0	—
		接合部仕様: I	平成12年建設省告示第1460号に適合する仕様
		基礎仕様:	同建物概要の基礎仕様
W18	(X10,Y2)-(X10.5,Y2)	壁基準耐力=0.0	外面: 0 無し
		(kN/m)	芯 : 0 無し

		外面: 0 無し
		接合部仕様: IV ほぞ差し、釘打ち、かすがい等
		基礎仕様: 同建物概要の基礎仕様
HW19	(X10,Y4)-(X10,Y5)	壁基準耐力=10.0 外面: 7.8 その他(別添仕様) (kN/m) 芯 : 2.4 筋かい木材30x90以上, BPまたは同等品(片筋)
		外面: 0 ー
		接合部仕様: I 平成12年建設省告示第1460号に適合する仕様
		基礎仕様: 同建物概要の基礎仕様
W20	(X11,Y5.5)-(X12,Y5.5)	壁基準耐力=0.0 外面: 0 無し (kN/m) 芯 : 0 無し
		外面: 0 無し
		接合部仕様: IV ほぞ差し、釘打ち、かすがい等
		基礎仕様: III その他の基礎
W21	(X10,Y5)-(X10,Y6)	壁基準耐力=1.1 外面: 1.1 石膏ボード張り(厚9以上) (kN/m) 芯 : 0 無し
		外面: 0 無し
		接合部仕様: IV ほぞ差し、釘打ち、かすがい等
		基礎仕様: 同建物概要の基礎仕様
W22	(X1,Y8)-(X3,Y8)	壁基準耐力=0.6 外面: 0 窓型開口壁 (kN/m) 芯 : 0 窓型開口壁
		外面: 0 窓型開口壁
		接合部仕様: IV ほぞ差し、釘打ち、かすがい等
		基礎仕様: 同建物概要の基礎仕様
W23	(X5,Y8)-(X7,Y8)	壁基準耐力=0.6 外面: 0 窓型開口壁 (kN/m) 芯 : 0 窓型開口壁
		外面: 0 窓型開口壁
		接合部仕様: IV ほぞ差し、釘打ち、かすがい等
		基礎仕様: 同建物概要の基礎仕様
W24	(X9.5,Y8)-(X10.5,Y8)	壁基準耐力=0.6 外面: 0 窓型開口壁 (kN/m) 芯 : 0 窓型開口壁
		外面: 0 窓型開口壁
		接合部仕様: IV ほぞ差し、釘打ち、かすがい等
		基礎仕様: 同建物概要の基礎仕様
W25	(X12,Y5.5)-(X12,Y4)	壁基準耐力=0.6 外面: 0 窓型開口壁 (kN/m) 芯 : 0 窓型開口壁
		外面: 0 窓型開口壁
		接合部仕様: IV ほぞ差し、釘打ち、かすがい等
		基礎仕様: 同建物概要の基礎仕様
W26	(X12,Y4)-(X12,Y3)	壁基準耐力=0.6 外面: 0 窓型開口壁 (kN/m) 芯 : 0 窓型開口壁
		外面: 0 窓型開口壁
		接合部仕様: IV ほぞ差し、釘打ち、かすがい等
		基礎仕様: 同建物概要の基礎仕様
W27	(X1,Y0)-(X3,Y0)	壁基準耐力=0.6 外面: 0 窓型開口壁 (kN/m) 芯 : 0 窓型開口壁

	外面: 0 窓型開口壁
	接合部仕様: IV ほぞ差し、釘打ち、かすがい等
	基礎仕様: 同建物概要の基礎仕様
W28 (X9,Y0)-(X9.5,Y0)	壁基準耐力=0.6 外面: 0 窓型開口壁 (kN/m) 芯 : 0 窓型開口壁 外面: 0 窓型開口壁
	接合部仕様: IV ほぞ差し、釘打ち、かすがい等
	基礎仕様: 同建物概要の基礎仕様
HW29 (X3,Y8)-(X4,Y8)	壁基準耐力=10.0 外面: 8.4 その他(別添仕様) (kN/m) 芯 : 2.4 筋かい木材30x90以上, BPまたは同等品(片筋) 外面: 0 ー
	接合部仕様: I 平成12年建設省告示第1460号に適合する仕様
	基礎仕様: 同建物概要の基礎仕様
HW30 (X4,Y8)-(X5,Y8)	壁基準耐力=10.0 外面: 8.4 その他(別添仕様) (kN/m) 芯 : 2.4 筋かい木材30x90以上, BPまたは同等品(片筋) 外面: 0 ー
	接合部仕様: I 平成12年建設省告示第1460号に適合する仕様
	基礎仕様: 同建物概要の基礎仕様
HW31 (X12,Y7)-(X12,Y5.5)	壁基準耐力=10.0 外面: 8.4 その他(別添仕様) (kN/m) 芯 : 2.4 筋かい木材30x90以上, BPまたは同等品(片筋) 外面: 0 ー
	接合部仕様: I 平成12年建設省告示第1460号に適合する仕様
	基礎仕様: 同建物概要の基礎仕様
HW32 (X9.5,Y0)-(X10.5,Y0)	壁基準耐力=10.0 外面: 8.4 その他(別添仕様) (kN/m) 芯 : 2.4 筋かい木材30x90以上, BPまたは同等品(片筋) 外面: 0 ー
	接合部仕様: I 平成12年建設省告示第1460号に適合する仕様
	基礎仕様: 同建物概要の基礎仕様
HW33 (X0,Y0)-(X1,Y0)	壁基準耐力=10.0 外面: 8.4 その他(別添仕様) (kN/m) 芯 : 2.4 筋かい木材30x90以上, BPまたは同等品(片筋) 外面: 0 ー
	接合部仕様: I 平成12年建設省告示第1460号に適合する仕様
	基礎仕様: 同建物概要の基礎仕様
HW34 (X0,Y1)-(X0,Y0)	壁基準耐力=10.0 外面: 8.4 その他(別添仕様) (kN/m) 芯 : 2.4 筋かい木材30x90以上, BPまたは同等品(片筋) 外面: 0 ー
	接合部仕様: I 平成12年建設省告示第1460号に適合する仕様
	基礎仕様: 同建物概要の基礎仕様
HW35 (X0,Y2)-(X0,Y1)	壁基準耐力=10.0 外面: 8.4 その他(別添仕様) (kN/m) 芯 : 2.4 筋かい木材30x90以上, BPまたは同等品(片筋) 外面: 0 ー
	接合部仕様: I 平成12年建設省告示第1460号に適合する仕様
	基礎仕様: 同建物概要の基礎仕様
HW36 (X0,Y4)-(X0,Y2)	壁基準耐力=10.0 外面: 8.4 その他(別添仕様) (kN/m) 芯 : 2.4 筋かい木材30x90以上, BPまたは同等品(片筋)

	外面: 0	—
	接合部仕様: I	平成12年建設省告示第1460号に適合する仕様
	基礎仕様:	同建物概要の基礎仕様
HW37 (X0,Y5)-(X0,Y4)	壁基準耐力=10.0	外面: 8.4 その他(別添仕様)
	(kN/m)	芯 : 2.4 筋かい木材30x90以上, BPまたは同等品(片筋)
	外面: 0	—
	接合部仕様: I	平成12年建設省告示第1460号に適合する仕様
	基礎仕様:	同建物概要の基礎仕様
HW38 (X0,Y8)-(X0,Y6)	壁基準耐力=10.0	外面: 8.4 その他(別添仕様)
	(kN/m)	芯 : 2.4 筋かい木材30x90以上, BPまたは同等品(片筋)
	外面: 0	—
	接合部仕様: I	平成12年建設省告示第1460号に適合する仕様
	基礎仕様:	同建物概要の基礎仕様
HW39 (X0,Y6)-(X0,Y5)	壁基準耐力=10.0	外面: 8.4 その他(別添仕様)
	(kN/m)	芯 : 2.4 筋かい木材30x90以上, BPまたは同等品(片筋)
	外面: 0	—
	接合部仕様: I	平成12年建設省告示第1460号に適合する仕様
	基礎仕様:	同建物概要の基礎仕様
W40 (X11,Y8)-(X11,Y6)	壁基準耐力=0.3	外面: 0 掃き出し型開口壁
	(kN/m)	芯 : 0 掃き出し型開口壁
	外面: 0	掃き出し型開口壁
	接合部仕様: IV	ほぞ差し、釘打ち、かすがい等
	基礎仕様:	同建物概要の基礎仕様
W41 (X10,Y6)-(X11,Y6)	壁基準耐力=0.3	外面: 0 掃き出し型開口壁
	(kN/m)	芯 : 0 掃き出し型開口壁
	外面: 0	掃き出し型開口壁
	接合部仕様: IV	ほぞ差し、釘打ち、かすがい等
	基礎仕様:	同建物概要の基礎仕様
W42 (X10,Y4)-(X10,Y3)	壁基準耐力=0.3	外面: 0 掃き出し型開口壁
	(kN/m)	芯 : 0 掃き出し型開口壁
	外面: 0	掃き出し型開口壁
	接合部仕様: IV	ほぞ差し、釘打ち、かすがい等
	基礎仕様:	III その他の基礎
W43 (X9,Y7)-(X9,Y8)	壁基準耐力=2.2	外面: 1.1 石膏ボード張り(厚9以上)
	(kN/m)	芯 : 0 無し
	外面: 1.1	石膏ボード張り(厚9以上)
	接合部仕様: IV	ほぞ差し、釘打ち、かすがい等
	基礎仕様:	III その他の基礎
W44 (X4,Y4)-(X4,Y5)	壁基準耐力=2.2	外面: 1.1 石膏ボード張り(厚9以上)
	(kN/m)	芯 : 0 無し
	外面: 1.1	石膏ボード張り(厚9以上)
	接合部仕様: IV	ほぞ差し、釘打ち、かすがい等
	基礎仕様:	III その他の基礎
W45 (X4,Y5)-(X4,Y6)	壁基準耐力=0.3	外面: 0 掃き出し型開口壁
	(kN/m)	芯 : 0 掃き出し型開口壁

		外面: 0	掃き出し型開口壁
		接合部仕様: IV	ほぞ差し、釘打ち、かすがい等
		基礎仕様: III	その他の基礎
W46	(X4,Y6)-(X5.5,Y6)	壁基準耐力=2.2	外面: 1.1 石膏ボード張り(厚9以上)
		(kN/m)	芯: 0 無し
		外面: 1.1	石膏ボード張り(厚9以上)
		接合部仕様: IV	ほぞ差し、釘打ち、かすがい等
		基礎仕様: III	その他の基礎
W47	(X7,Y6)-(X8,Y6)	壁基準耐力=2.2	外面: 1.1 石膏ボード張り(厚9以上)
		(kN/m)	芯: 0 無し
		外面: 1.1	石膏ボード張り(厚9以上)
		接合部仕様: IV	ほぞ差し、釘打ち、かすがい等
		基礎仕様: III	その他の基礎
W48	(X5.5,Y6)-(X7,Y6)	壁基準耐力=0.3	外面: 0 掃き出し型開口壁
		(kN/m)	芯: 0 掃き出し型開口壁
		外面: 0	掃き出し型開口壁
		接合部仕様: IV	ほぞ差し、釘打ち、かすがい等
		基礎仕様: III	その他の基礎
HW49	(X3,Y0)-(X4,Y0)	壁基準耐力=10.0	外面: 8.4 その他(別添仕様)
		(kN/m)	芯: 2.4 筋かい木材30x90以上, BPまたは同等品(片筋)
		外面: 0	—
		接合部仕様: I	平成12年建設省告示第1460号に適合する仕様
		基礎仕様:	同建物概要の基礎仕様
HW50	(X8,Y0)-(X9,Y0)	壁基準耐力=10.0	外面: 8.4 その他(別添仕様)
		(kN/m)	芯: 2.4 筋かい木材30x90以上, BPまたは同等品(片筋)
		外面: 0	—
		接合部仕様: I	平成12年建設省告示第1460号に適合する仕様
		基礎仕様:	同建物概要の基礎仕様
HW51	(X11,Y8)-(X12,Y8)	壁基準耐力=10.0	外面: 8.4 その他(別添仕様)
		(kN/m)	芯: 2.4 筋かい木材30x90以上, BPまたは同等品(片筋)
		外面: 0	—
		接合部仕様: II	羽子板ボルト、山形プレートVP、かど金物CP-L、込み栓
		基礎仕様:	同建物概要の基礎仕様
HW52	(X7,Y8)-(X9,Y8)	壁基準耐力=10.0	外面: 8.4 その他(別添仕様)
		(kN/m)	芯: 2.4 筋かい木材30x90以上, BPまたは同等品(片筋)
		外面: 0	—
		接合部仕様: I	平成12年建設省告示第1460号に適合する仕様
		基礎仕様:	同建物概要の基礎仕様
HW53	(X9,Y8)-(X9.5,Y8)	壁基準耐力=8.4	外面: 8.4 その他(別添仕様)
		(kN/m)	芯: 0 無し
		外面: 0	—
		接合部仕様: I	平成12年建設省告示第1460号に適合する仕様
		基礎仕様:	同建物概要の基礎仕様
HW54	(X10.5,Y8)-(X11,Y8)	壁基準耐力=8.4	外面: 8.4 その他(別添仕様)
		(kN/m)	芯: 0 無し

	外面: 0	—
	接合部仕様: I	平成12年建設省告示第1460号に適合する仕様
	基礎仕様:	同建物概要の基礎仕様
HW55 (X4.5,Y0)-(X4,Y0)	壁基準耐力=8.4	外面: 8.4 その他(別添仕様)
	(kN/m)	芯 : 0 無し
	外面: 0	—
	接合部仕様: I	平成12年建設省告示第1460号に適合する仕様
	基礎仕様:	同建物概要の基礎仕様
HW56 (X7.5,Y0)-(X8,Y0)	壁基準耐力=8.4	外面: 8.4 その他(別添仕様)
	(kN/m)	芯 : 0 無し
	外面: 0	—
	接合部仕様: I	平成12年建設省告示第1460号に適合する仕様
	基礎仕様:	同建物概要の基礎仕様
HW57 (X10,Y3)-(X10.5,Y3)	壁基準耐力=7.8	外面: 7.8 その他(別添仕様)
	(kN/m)	芯 : 0 無し
	外面: 0	無し
	接合部仕様: I	平成12年建設省告示第1460号に適合する仕様
	基礎仕様:	同建物概要の基礎仕様
HW58 (X10,Y4)-(X12,Y4)	壁基準耐力=10.0	外面: 7.8 その他(別添仕様)
	(kN/m)	芯 : 2.4 筋かい木材30x90以上, BPまたは同等品(片筋)
	外面: 0	—
	接合部仕様: I	平成12年建設省告示第1460号に適合する仕様
	基礎仕様:	同建物概要の基礎仕様
HW59 (X10.5,Y3)-(X12,Y3)	壁基準耐力=8.33	外面: 6.37 その他(別添仕様)
	(kN/m)	芯 : 1.96 その他(別添仕様)
	外面: 0	—
	接合部仕様: II	羽子板ボルト、山形プレートVP、かど金物CP-L、込み栓
	基礎仕様:	同建物概要の基礎仕様
HW60 (X10.5,Y2)-(X10.5,Y3)	壁基準耐力=10.0	外面: 7.8 その他(別添仕様)
	(kN/m)	芯 : 2.4 筋かい木材30x90以上, BPまたは同等品(片筋)
	外面: 0	—
	接合部仕様: I	平成12年建設省告示第1460号に適合する仕様
	基礎仕様:	同建物概要の基礎仕様
W61 (X10,Y2)-(X10,Y3)	壁基準耐力=0.3	外面: 0 掃き出し型開口壁
	(kN/m)	芯 : 0 掃き出し型開口壁
	外面: 0	掃き出し型開口壁
	接合部仕様: IV	ほぞ差し、釘打ち、かすがい等
	基礎仕様: III	その他の基礎
HW62 (X10.5,Y2)-(X10.5,Y1.5)	壁基準耐力=7.8	外面: 7.8 その他(別添仕様)
	(kN/m)	芯 : 0 無し
	外面: 0	無し
	接合部仕様: I	平成12年建設省告示第1460号に適合する仕様
	基礎仕様:	同建物概要の基礎仕様

&lt;2階&gt; 壁

Wee2012(Win10) Ver2.0.0 P.11

2025/09/19 14:57:09

HW1 (X7,Y8)-(X8,Y8)	壁基準耐力=10.0 外面: 8.4 その他(別添仕様) (kN/m) 芯 : 2.4 筋かい木材30x90以上, BPまたは同等品(片筋) 外面: 0 無し
W2 (X3.5,Y3)-(X4,Y3)	接合部仕様: I 平成12年建設省告示第1460号に適合する仕様 壁基準耐力=0.0 外面: 0 無し (kN/m) 芯 : 0 無し 外面: 0 無し
W3 (X5,Y8)-(X7,Y8)	接合部仕様: IV ほぞ差し、釘打ち、かすがい等 壁基準耐力=0.6 外面: 0 窓型開口壁 (kN/m) 芯 : 0 窓型開口壁 外面: 0 窓型開口壁
W4 (X8,Y8)-(X10,Y8)	接合部仕様: IV ほぞ差し、釘打ち、かすがい等 壁基準耐力=0.6 外面: 0 窓型開口壁 (kN/m) 芯 : 0 窓型開口壁 外面: 0 窓型開口壁
W5 (X12,Y6)-(X12,Y4)	接合部仕様: IV ほぞ差し、釘打ち、かすがい等 壁基準耐力=0.6 外面: 0 窓型開口壁 (kN/m) 芯 : 0 窓型開口壁 外面: 0 窓型開口壁
W6 (X7,Y8)-(X7,Y7)	接合部仕様: IV ほぞ差し、釘打ち、かすがい等 壁基準耐力=0.3 外面: 0 掃き出し型開口壁 (kN/m) 芯 : 0 掃き出し型開口壁 外面: 0 掃き出し型開口壁
W7 (X7,Y6)-(X8,Y6)	接合部仕様: IV ほぞ差し、釘打ち、かすがい等 壁基準耐力=0.3 外面: 0 掃き出し型開口壁 (kN/m) 芯 : 0 掃き出し型開口壁 外面: 0 掃き出し型開口壁
W8 (X9,Y7)-(X10,Y7)	接合部仕様: IV ほぞ差し、釘打ち、かすがい等 壁基準耐力=0.3 外面: 0 掃き出し型開口壁 (kN/m) 芯 : 0 掃き出し型開口壁 外面: 0 掃き出し型開口壁
W9 (X10,Y7)-(X12,Y7)	接合部仕様: IV ほぞ差し、釘打ち、かすがい等 壁基準耐力=0.3 外面: 0 掃き出し型開口壁 (kN/m) 芯 : 0 掃き出し型開口壁 外面: 0 掃き出し型開口壁
W10 (X5,Y6)-(X7,Y6)	接合部仕様: IV ほぞ差し、釘打ち、かすがい等 壁基準耐力=2.2 外面: 1.1 石膏ボード張り(厚9以上) (kN/m) 芯 : 0 無し 外面: 1.1 石膏ボード張り(厚9以上)
HW11 (X12,Y4)-(X12,Y3)	接合部仕様: IV ほぞ差し、釘打ち、かすがい等 壁基準耐力=10.0 外面: 7.8 その他(別添仕様) (kN/m) 芯 : 2.4 筋かい木材30x90以上, BPまたは同等品(片筋) 外面: 0 無し
HW12 (X11,Y3)-(X12,Y3)	接合部仕様: I 平成12年建設省告示第1460号に適合する仕様 壁基準耐力=10.0 外面: 7.8 その他(別添仕様)

		(kN/m) 芯 : 2.4 筋かい木材30x90以上, BPまたは同等品(片筋)
		外面: 0 無し
		接合部仕様: I 平成12年建設省告示第1460号に適合する仕様
W13	(X8,Y3)-(X8,Y4)	壁基準耐力=0.0 外面: 0 無し
		(kN/m) 芯 : 0 無し
		外面: 0 無し
		接合部仕様: IV ほぞ差し、釘打ち、かすがい等
W14	(X7,Y3)-(X8,Y3)	壁基準耐力=0.0 外面: 0 無し
		(kN/m) 芯 : 0 無し
		外面: 0 無し
		接合部仕様: IV ほぞ差し、釘打ち、かすがい等
W15	(X3.5,Y6)-(X3.5,Y5)	壁基準耐力=1.1 外面: 1.1 石膏ボード張り(厚9以上)
		(kN/m) 芯 : 0 無し
		外面: 0 無し
		接合部仕様: IV ほぞ差し、釘打ち、かすがい等
W16	(X3.5,Y5)-(X3.5,Y3)	壁基準耐力=1.1 外面: 1.1 石膏ボード張り(厚9以上)
		(kN/m) 芯 : 0 無し
		外面: 0 無し
		接合部仕様: IV ほぞ差し、釘打ち、かすがい等
W17	(X4,Y3)-(X5,Y3)	壁基準耐力=1.1 外面: 1.1 石膏ボード張り(厚9以上)
		(kN/m) 芯 : 0 無し
		外面: 0 無し
		接合部仕様: IV ほぞ差し、釘打ち、かすがい等
W18	(X3.5,Y8)-(X3.5,Y6)	壁基準耐力=1.1 外面: 1.1 石膏ボード張り(厚9以上)
		(kN/m) 芯 : 0 無し
		外面: 0 無し
		接合部仕様: IV ほぞ差し、釘打ち、かすがい等
W19	(X7,Y7)-(X7,Y6)	壁基準耐力=1.1 外面: 1.1 石膏ボード張り(厚9以上)
		(kN/m) 芯 : 0 無し
		外面: 0 無し
		接合部仕様: IV ほぞ差し、釘打ち、かすがい等
W20	(X8,Y4)-(X8,Y6)	壁基準耐力=1.1 外面: 1.1 石膏ボード張り(厚9以上)
		(kN/m) 芯 : 0 無し
		外面: 0 無し
		接合部仕様: IV ほぞ差し、釘打ち、かすがい等
HW21	(X10,Y8)-(X12,Y8)	壁基準耐力=10.0 外面: 8.4 その他(別添仕様)
		(kN/m) 芯 : 2.4 筋かい木材30x90以上, BPまたは同等品(片筋)
		外面: 0 無し
		接合部仕様: I 平成12年建設省告示第1460号に適合する仕様
HW22	(X4,Y8)-(X5,Y8)	壁基準耐力=10.0 外面: 8.4 その他(別添仕様)
		(kN/m) 芯 : 2.4 筋かい木材30x90以上, BPまたは同等品(片筋)
		外面: 0 無し
		接合部仕様: I 平成12年建設省告示第1460号に適合する仕様
W23	(X9,Y5)-(X9,Y7)	壁基準耐力=1.1 外面: 1.1 石膏ボード張り(厚9以上)
		(kN/m) 芯 : 0 無し

		外面: 0	無し
		接合部仕様: IV	ほぞ差し、釘打ち、かすがい等
W24	(X9,Y3)-(X9,Y5)	壁基準耐力=1.1	外面: 1.1 石膏ボード張り(厚9以上)
		(kN/m)	芯 : 0 無し
		外面: 0	無し
		接合部仕様: IV	ほぞ差し、釘打ち、かすがい等
HW25	(X4,Y6)-(X4,Y8)	壁基準耐力=6.4	外面: 0 無し
		(kN/m)	芯 : 6.4 筋かい木材45x90以上, BP-2または同等品(両筋)
		外面: 0	無し
		接合部仕様: I	平成12年建設省告示第1460号に適合する仕様
HW26	(X3.5,Y8)-(X4,Y8)	壁基準耐力=8.4	外面: 8.4 その他(別添仕様)
		(kN/m)	芯 : 0 無し
		外面: 0	無し
		接合部仕様: I	平成12年建設省告示第1460号に適合する仕様
W27	(X10,Y7)-(X10,Y8)	壁基準耐力=1.1	外面: 1.1 石膏ボード張り(厚9以上)
		(kN/m)	芯 : 0 無し
		外面: 0	無し
		接合部仕様: IV	ほぞ差し、釘打ち、かすがい等
W28	(X12,Y7)-(X12,Y8)	壁基準耐力=1.1	外面: 1.1 石膏ボード張り(厚9以上)
		(kN/m)	芯 : 0 無し
		外面: 0	無し
		接合部仕様: IV	ほぞ差し、釘打ち、かすがい等
W29	(X12,Y7)-(X12,Y6)	壁基準耐力=1.1	外面: 1.1 石膏ボード張り(厚9以上)
		(kN/m)	芯 : 0 無し
		外面: 0	無し
		接合部仕様: IV	ほぞ差し、釘打ち、かすがい等
W30	(X4,Y6)-(X5,Y6)	壁基準耐力=1.1	外面: 1.1 石膏ボード張り(厚9以上)
		(kN/m)	芯 : 0 無し
		外面: 0	無し
		接合部仕様: IV	ほぞ差し、釘打ち、かすがい等
W31	(X3.5,Y6)-(X4,Y6)	壁基準耐力=0.0	外面: 0 無し
		(kN/m)	芯 : 0 無し
		外面: 0	無し
		接合部仕様: IV	ほぞ差し、釘打ち、かすがい等

Wee2012(Win10) Ver2.0.0 P.14

2025/09/19 14:57:09

## 3. 必要耐力の算出 (表3.1)

- A : 床面積 (m<sup>2</sup>)  
 Q<sub>y</sub> : 床面積当たり必要耐力 (kN/m<sup>2</sup>)  
 Q<sub>s</sub> : 積雪用必要耐力 (kN/m<sup>2</sup>)  
 Z : 地域係数  
 α : 地盤による割増係数  
 β : 形状割増係数  
 γ : 混構造割増係数  
 Q<sub>r</sub> : 必要耐力 (kN)

階	A	Q <sub>y</sub>	Q <sub>s</sub>	Z	α	β	γ	Q <sub>r</sub>
2	35.19	0.37	0.36	0.9	1.0	1.00	1.0	23.25
1	79.50	0.83	0.36	0.9	1.0	1.00	1.0	85.43

## 4. 領域毎の必要耐力の算出 (耐力要素の配置などによる低減係数算出用)

- A : 床面積 (m<sup>2</sup>)  
 Q<sub>y</sub> : 床面積当たり必要耐力 (kN/m<sup>2</sup>)  
 Q<sub>s</sub> : 積雪用必要耐力 (kN/m<sup>2</sup>)  
 Z : 地域係数  
 α : 地盤による割増係数  
 β : 形状割増係数  
 γ : 混構造割増係数  
 Q<sub>r</sub> : 必要耐力 (kN)

階	方向	領域	A	Q <sub>y</sub>	Q <sub>s</sub>	Z	α	β	γ	Q <sub>r</sub>
2	X	a	8.80	0.37	0.36	0.9	1.0	1.00	1.0	5.81
		b	8.80	0.37	0.36	0.9	1.0	1.00	1.0	5.81
	Y	イ	8.80	0.37	0.36	0.9	1.0	1.00	1.0	5.81
		ロ	8.80	0.37	0.36	0.9	1.0	1.00	1.0	5.81
1	X	a	19.87	0.83	0.36	0.9	1.0	1.00	1.0	21.36
		b	19.87	0.28	0.36	0.9	1.0	1.00	1.0	11.52
	Y	イ	19.87	0.28	0.36	0.9	1.0	1.00	1.0	11.52
		ロ	19.87	0.83	0.36	0.9	1.0	1.00	1.0	21.36

5. 壁の耐力の算出

No. : 壁番号

Fw : 壁基準耐力 (kN/m)

sKj : 接合部耐力低減係数、壁基準耐力及び積雪深により直線補間した値

①壁基準耐力による直線補間の計算方法、KjはFwにおける低減係数

壁耐力 Fw1 [Fw] Fw2

低減係数 Kj1 [Kj] Kj2

$$Kj = Kj1 + \{ (Kj2 - Kj1) / (Fw2 - Fw1) \} \times (Fw - Fw1)$$

②積雪深による直線補間の計算方法、sKjは積雪深Sにおける低減係数

積雪深 S1 [S] S2

低減係数 sKj1 [sKj] sKj2

注)sKjは壁耐力で補間した多雪区域の低減係数

$$sKj = sKj1 + \{ (sKj2 - sKj1) / (S2 - S1) \} \times (S - S1)$$

(Ka) : 開口壁における連続長さとの開口形状による調整係数

窓が掃出しと隣接する場合、掃出しとみなすため、Ka=0.5

開口壁の連続長さが3mを超える場合は、Ka=3000/L

窓が掃出しと隣接し、連続長さが3mを超える場合は、Ka=0.5 × 3000/L

無開口壁と隣接しない場合は、Ka=0

L : 壁長 (mm)

Qwi : 各壁の耐力 (kN)

Qw : 領域内の壁の耐力の合計 (kN)

Qe : その他の耐震要素の耐力 (kN)

Qu : 壁・柱の耐力 (kN) Qu=Qw+Qe

階	方向	領域	No.	Fw		sKj (sKa)		L	=	Qwi	Qw	Qe	Qu
1	X	a	HW1	10.00	×	0.820	×	910	=	7.46	52.33	10.78	63.11
			W22	0.60	×	(1.000)	×	1,820	=	1.09			
			W23	0.60	×	(1.000)	×	1,820	=	1.09			
			W24	0.60	×	(1.000)	×	910	=	0.55			
			HW29	10.00	×	0.820	×	910	=	7.46			
			HW30	10.00	×	0.890	×	910	=	8.10			
			W41	0.30	×	(0.000)	×	910	=	0.00			
			W46	2.20	×	1.000	×	1,365	=	3.00			
			W47	2.20	×	1.000	×	910	=	2.00			
			W48	0.30	×	(1.000)	×	1,365	=	0.41			
			HW51	10.00	×	0.890	×	910	=	8.10			
			HW52	10.00	×	0.890	×	1,820	=	16.20			
			HW53	8.40	×	(1.000)	×	455	=	3.82			
		HW54	8.40	×	(1.000)	×	455	=	3.82				
		中	W3	2.20	×	0.958	×	910	=	1.92	30.15	3.55	33.70
			W4	2.20	×	0.958	×	910	=	1.92			
			W20	0.00	×	(0.000)	×	910	=	0.00			
			HW57	7.80	×	(1.000)	×	455	=	3.55			
			HW58	10.00	×	0.890	×	1,820	=	16.20			
		HW59	8.33	×	0.890	×	1,365	=	10.12				
		b	W6	1.10	×	1.000	×	910	=	1.00			
W11	0.00		×	(0.000)	×	455	=	0.00					
W18	0.00		×	(0.000)	×	455	=	0.00					

階	方向	領域	No.	Fw		sKj (sKa)		L		Qwi	Qw	Qe	Qu		
			W27	0.60	×	(1.000)	×	1,820	=	1.09					
			W28	0.60	×	(1.000)	×	455	=	0.27					
			HW32	10.00	×	0.820	×	910	=	7.46					
			HW33	10.00	×	0.820	×	910	=	7.46					
			HW49	10.00	×	0.820	×	910	=	7.46					
			HW50	10.00	×	0.820	×	910	=	7.46					
			HW55	8.40	×	(1.000)	×	455	=	3.82					
			HW56	8.40	×	(1.000)	×	455	=	3.82					
		Σ									30.85	9.01	39.86		
											113.33	16.24	129.57		
1	Y	イ	W15	0.30	×	(0.000)	×	910	=	0.00					
			W16	0.30	×	(0.000)	×	1,820	=	0.00					
			HW34	10.00	×	0.820	×	910	=	7.46					
			HW35	10.00	×	0.820	×	910	=	7.46					
			HW36	10.00	×	0.820	×	1,820	=	14.92					
			HW37	10.00	×	0.820	×	910	=	7.46					
			HW38	10.00	×	0.820	×	1,820	=	14.92					
			HW39	10.00	×	0.820	×	910	=	7.46					
													59.70	0.00	59.70
		中	W5	2.20	×	1.000	×	1,820	=	4.00					
			W9	0.30	×	(0.824)	×	910	=	0.23					
			W10	0.30	×	(0.824)	×	1,820	=	0.45					
			W12	0.30	×	(0.824)	×	910	=	0.23					
			W14	0.30	×	(0.824)	×	3,640	=	0.90					
			HW17	10.00	×	0.820	×	1,820	=	14.92					
			W44	2.20	×	1.000	×	910	=	2.00					
			W45	0.30	×	(1.000)	×	910	=	0.27					
													20.93	2.07	23.00
		ロ	HW2	10.00	×	0.890	×	910	=	8.10					
			W7	1.10	×	1.000	×	910	=	1.00					
			W8	0.00	×	(0.000)	×	455	=	0.00					
			W13	0.30	×	(1.000)	×	910	=	0.27					
			HW19	10.00	×	0.890	×	910	=	8.10					
			W21	1.10	×	1.000	×	910	=	1.00					
			W25	0.60	×	(1.000)	×	1,365	=	0.82					
			W26	0.60	×	(1.000)	×	910	=	0.55					
			HW31	10.00	×	0.890	×	1,365	=	12.15					
W40	0.30		×	(0.000)	×	1,820	=	0.00							
W42	0.30		×	(1.000)	×	910	=	0.27							
W43	2.20		×	1.000	×	910	=	2.00							
HW60	10.00		×	0.820	×	910	=	7.46							
W61	0.30		×	(1.000)	×	910	=	0.27							
HW62	7.80	×	(1.000)	×	455	=	3.55								
											39.81	5.73	45.55		
		Σ									120.44	7.81	128.24		
2	X	a	HW1	10.00	×	1.000	×	910	=	9.10					
			W3	0.60	×	(1.000)	×	1,820	=	1.09					
			W4	0.60	×	(1.000)	×	1,820	=	1.09					

階	方向	領域	No.	Fw		sKj (sKa)		L		Qwi	Qw	Qe	Qu		
			W8	0.30	×	(0.000)	×	910	=	0.00	36.40	6.01	42.41		
			W9	0.30	×	(0.000)	×	1,820	=	0.00					
			HW21	10.00	×	1.000	×	1,820	=	18.20					
			HW22	10.00	×	1.000	×	910	=	9.10					
			HW26	8.40	×	(1.000)	×	455	=	3.82					
		中	W7	0.30	×	(1.000)	×	910	=	0.27	4.84	0.27	5.11		
			W10	2.20	×	0.958	×	1,820	=	3.84					
			W30	1.10	×	1.000	×	910	=	1.00					
			W31	0.00	×	(1.000)	×	455	=	0.00					
		b	W2	0.00	×	(1.000)	×	455	=	0.00	10.10	0.00	10.10		
			HW12	10.00	×	1.000	×	910	=	9.10					
			W14	0.00	×	(0.000)	×	910	=	0.00					
			W17	1.10	×	1.000	×	910	=	1.00					
		Σ											51.34	6.28	57.62
		2	Y	イ	W15	1.10	×	1.000	×	910	=	1.00	16.65	0.00	16.65
					W16	1.10	×	1.000	×	1,820	=	2.00			
					W18	1.10	×	1.000	×	1,820	=	2.00			
HW25	6.40				×	1.000	×	1,820	=	11.65					
中	W6			0.30	×	(1.000)	×	910	=	0.27	7.01	0.27	7.28		
	W13			0.00	×	(1.000)	×	910	=	0.00					
	W19			1.10	×	1.000	×	910	=	1.00					
	W20			1.10	×	1.000	×	1,820	=	2.00					
	W23			1.10	×	1.000	×	1,820	=	2.00					
	W24			1.10	×	1.000	×	1,820	=	2.00					
ロ	W5			0.60	×	(1.000)	×	1,820	=	1.09	12.10	1.09	13.20		
	HW11			10.00	×	1.000	×	910	=	9.10					
	W27			1.10	×	1.000	×	910	=	1.00					
	W28			1.10	×	1.000	×	910	=	1.00					
	W29			1.10	×	1.000	×	910	=	1.00					
Σ											35.76	1.37	37.13		

6. 耐力要素の配置等による低減係数

【床の仕様】Ⅲ 火打ちなし (4m以上の吹き抜けなし)

階	方向	領域	領域の必要耐力 Qr	領域の無開口壁の耐力 Qw	充足率 Qw/Qr	耐力要素の配置等による 低減係数 eKfl
2	X	a	5.81	36.40	6.26	1.00
		b	5.81	10.10	1.74	
	Y	イ	5.81	16.65	2.87	
		ロ	5.81	12.10	2.08	
1	X	a	21.36	52.33	2.45	1.00
		b	11.52	30.85	2.68	
	Y	イ	11.52	59.70	5.18	
		ロ	21.36	39.81	1.86	

7. 劣化度による低減係数

【築10年以上】

部位	材料、部材等	劣化事象	存在点数	劣化点数	
屋根 葺き材	金属板	変退色、さび、さび穴、ずれ、めくれがある	2		
	瓦・スレート	割れ、欠け、ずれ、欠落がある			
樋	軒・呼び樋	変退色、さび、割れ、ずれ、欠落がある			
	縦樋	変退色、さび、割れ、ずれ、欠落がある			
外壁 仕上げ	木製板、合板	水浸み痕、こけ、割れ、抜け節、ずれ、腐朽がある	4	4	
	窯業系サイディング	こけ、割れ、ずれ、欠落、シール切れがある			
	金属サイディング	変退色、さび、さび穴、ずれ、めくれ、目地空き、シール切れがある			
	モルタル	こけ、0.3mm以上の亀裂、剥落がある			
露出した躯体		水浸み痕、こけ、腐朽、蟻道、蟻害がある	2	2	
バルコニー 手すり 壁	木製板、合板	水浸み痕、こけ、割れ、抜け節、ずれ、腐朽がある			
	窯業系サイディング	こけ、割れ、ずれ、欠落、シール切れがある			
	金属サイディング	変退色、さび、さび穴、ずれ、めくれ、目地空き、シール切れがある			
	外壁との接合部	外壁面との接合部に亀裂、隙間、緩み、シール切れ・剥離がある			
床排水		壁面を伝って流れている、または排水の仕組みが無い			
内壁	一般室 内壁、窓下	水浸み痕、はがれ、亀裂、カビがある	2		
	浴室	タイル壁	目地の亀裂、タイルの割れがある	2	
		タイル以外	水浸み痕、変色、亀裂、カビ、腐朽、蟻害がある		
床	一般室 床面	傾斜、過度の振動、床鳴りがある	2	2	
	廊下	傾斜、過度の振動、床鳴りがある	1	1	
	床下	基礎のひび割れや床下部材に腐朽、蟻道、蟻害がある	2		
合計			17	9	

劣化度による低減係数	$dK = 1 - (\text{劣化点数} / \text{存在点数}) =$	0.70
------------	--	------

8. 上部構造評点

階	方向	壁・柱の耐力 Qu (kN)	配置等による 低減係数 eKfl	劣化度 dK	保有する耐力 edQu=Qu*eKfl*dK	必要耐力 Qr (kN)	上部構造評点 edQu/Qr
2	X	57.62	1.00	0.70	40.33	23.25	1.73
	Y	37.13	1.00	0.70	25.99	23.25	1.11
1	X	129.57	1.00	0.70	90.70	85.43	1.06
	Y	128.24	1.00	0.70	89.77	85.43	1.05

(注)プログラムの計算は実数で行っている。上部構造評点(edQu/Qr)に対しては小数点第3位を切り捨てる。

耐震診断依頼者 M様邸 様

総合評価 (計算結果)

【地盤】

地盤	施されている対策の程度	記入	注意事項
よい・普通の地盤		○	最大予想震度6強 液状化発生の可能性がある地域です。
悪い地盤			
非常に悪い地盤 (埋立地、盛土、 軟弱地盤)	表層の地盤改良を行っている 杭基礎である		
	特別な対策を行っていない		

【地形】

地形	施されている対策の程度	記入	注意事項
平坦・普通		○	特になし。
がけ地・急斜面	コンクリート擁壁		
	石積み 特別な対策を行っていない		

【基礎】

基礎仕様	状態	記入	注意事項
鉄筋コンクリート基礎	健全	○	ひび割れが発生している場合、内部の鉄筋が錆びて、コンクリートを壊す可能性があります。補修が必要です。
	ひび割れが生じている		
無筋コンクリート基礎	健全		
	軽微なひび割れが生じている ひび割れが生じている		
玉石基礎	足固めあり		
	足固めなし		
その他(ブロック基礎等)			

【上部構造】

上部構造評点のうち最小の値	1.05 (一応倒壊しない)
---------------	----------------

注) 1.5以上:倒壊しない 1.0~1.5未満:一応倒壊しない 0.7~1.0未満:倒壊する可能性がある 0.7未満:倒壊する可能性が高い

【計算メッセージ】

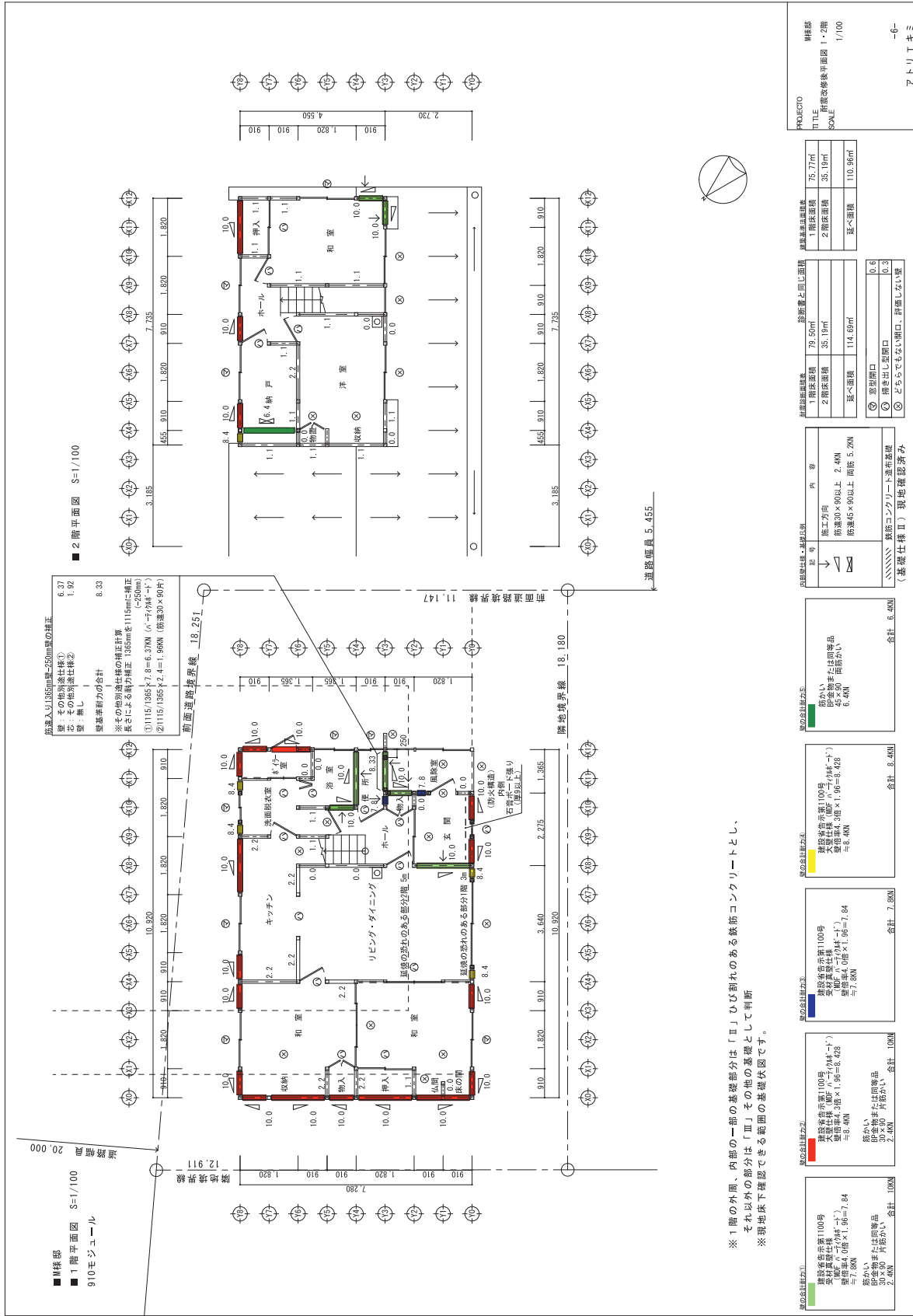
※1.その他(別添仕様)の壁が使用されています。	※2.基礎・接合部の仕様が個別設定された壁があります。
--------------------------	-----------------------------

【その他注意事項】

【コメントを入力すること。】
----------------

診断者	君 興治	講習会	主催者	公共団体 (札幌市木造住宅耐震診断)
所属	株式会社 アトリエキミ		講習修了番号	500
連絡先	札幌市中央区双子山3丁目3-18 TEL:011-213-9263			





<b>■ M様邸</b> <b>■ 1階平面図 S=1/100</b> 910モジュール 道路幅員 20,000		前地境界線 18,251 隣地境界線 18,180 道路幅員 5,455	
基礎部 1階床面積 75.77㎡ 2階床面積 35.19㎡ 延べ面積 110.96㎡	新築基礎面積 1階床面積 75.50㎡ 2階床面積 35.19㎡ 延べ面積 114.69㎡	新築基礎面積 1階床面積 75.50㎡ 2階床面積 35.19㎡ 延べ面積 110.69㎡	基礎部 新築基礎平面図 1・2階 SCALE 1/100
基礎仕様Ⅰ 基礎仕様Ⅱ 基礎仕様Ⅲ 基礎仕様Ⅳ 基礎仕様Ⅴ 基礎仕様Ⅵ 基礎仕様Ⅶ 基礎仕様Ⅷ 基礎仕様Ⅷ	基礎仕様Ⅰ 基礎仕様Ⅱ 基礎仕様Ⅲ 基礎仕様Ⅳ 基礎仕様Ⅴ 基礎仕様Ⅵ 基礎仕様Ⅶ 基礎仕様Ⅷ 基礎仕様Ⅷ	基礎仕様Ⅰ 基礎仕様Ⅱ 基礎仕様Ⅲ 基礎仕様Ⅳ 基礎仕様Ⅴ 基礎仕様Ⅵ 基礎仕様Ⅶ 基礎仕様Ⅷ 基礎仕様Ⅷ	基礎仕様Ⅰ 基礎仕様Ⅱ 基礎仕様Ⅲ 基礎仕様Ⅳ 基礎仕様Ⅴ 基礎仕様Ⅵ 基礎仕様Ⅶ 基礎仕様Ⅷ 基礎仕様Ⅷ

